新京日日新聞
夕刊
三月二十七日
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介

海軍の態度確固不動
聯盟脱退効力發生
南洋群島の歸屬？
若し奪取せんとする場合は
實力を以つて對應

【東京國通】日本は愈々聯盟を完全に離脱したが日本海軍の南洋群島に對する態度は左の如く確固不動である即ち南洋群島は歐洲大戰中我海軍が占領せるものであつて戰勝の結果、而も友邦との合議の上我統治下に入つたものであり絶對に之を手離す事は出來ない、又手離す理由もない、若し敵が南洋群島の一部を根據として漸次我本土方面に襲來するとせば、太平洋に面する全海岸は敵の攻撃に曝露される事となり、假に敵に勝る海軍を持つてゐるとしても海防の安全を期する事は容易でない況や敵より劣勢な兵力では一層の困難を感ずるのである、故に萬一何等かの理由をつけて我より之を奪取せんとする樣な場合は我が對策は極めて簡單で即ち唯實力で對應すればよい

聯盟脱退 効力發生後の
日本の外交具体策確立す

【東京國通】聯盟脱退後日本の採るべき外交具體策左の通りである

一、聯盟國の處理すべき國際問題に於てその事件に政治的目的が加味されてゐる場合にはオブザーバーとして招かれても代表を送らず、又材料も提供せず

一、尚聯盟が聯盟加入國の如何を問はず一律平等に關係國を召集する國際會議には（一般軍縮、世界通貨、經濟會議等）聯盟側より招請ある場合は之に參加す

一、聯盟規約の第二十三條の人道、社會、經濟問題や第二十五條の赤十字との協力には聯盟よりの依頼あれば便宜を供與す

一、經費分擔、理事會改造、軍事諮問、歐洲聯合、對支技術援助委員會とは斷然手を切る

一、南洋委任統治の歸屬に就ては屢々政府の聲明せる通り聯盟への去就如何で何等の影響を受ける事なし

以上要するに政府としては期間滿了により聯盟脱退は自動的に有效化する故特に何等の公式意志を聲明宣言しないが以上の方針通り聯盟關係を清算して外交主力を對滿支露の懸案解決に傾注して聯盟脱退が東亞に於ける外交關係調整を促進せる事を證明せんとするものである

今後も日本の協力を願ふ
アブノール聯盟事務總長
ステートメント發表

【ジユネーヴ廿六日發國通】日本政府の聯盟脱退が效力を發生するに當り聯盟事務總長アブノール氏は廿六日特にステートメントを發表、日本政府と聯盟との關係が法律的に斷絶するに拘らず從來の友好關係の持續を切望した

アブノール總長のステートメント要旨

國際聯盟が、過去十五年間聯盟國の一員として協力して來た日本政府と袂を別つに至つたことは非常に遺憾である、今や離別は既定の事實となり日本政府と聯盟との間の法律的結合が解消した以上日本政府は最早や聯盟に關して何等の權利も義務も有せず從來聯盟に關して占めて來た地位を保持することが出來なくなつた一方聯盟當局の諒解するところに依れば日本政府は二年前に聯盟脱退の通告に當り渙發された詔書の精神を體し依然國際協力の方針を遂行する意圖を有すると言はれる、右日本政府の方針は聯盟當局の諒とするところである、日本政府の國際協力方針が具體的に如何なる樣式を採るかは俄かに豫斷出來ないが、余としては今後も日本政府と聯盟との關係を惡化する虞れのある處置は一切採らないことに決した

將來を豫測することは出來ぬが何れにせよ聯盟が普遍性を實現すべき希望を抛擲すべきだとは考へない

將來を達觀 努力猛進せん
―對滿事務局總裁談―

【東京國通】聯盟脱退記念日に際し對滿事務局總裁は語る

本日は聯盟を完全に離脱する記念日である、過去二年間の滿洲國狀態治安狀態良好となり財政は確立、貨幣金融の制度は面目を一新し交通は發達し、産業も起り地方制度も改善され諸政策その緒に就き、殊に帝政實施に依り國礎確立、民心安定かくて東亞一般の空氣も最近漸く改善の跡を認めらる

これは即ち滿洲國の健全な發達が東亞及び延いては世界平和の鍵だと認めた我が信念の正しきを世界に實證するものである

この記念日に我等は更に將來を達觀して努力猛進せねばならぬ

閣議決定事項

二十五日の第十一次國務院會議において次の五件が決定された

一、大同學院々長の官等俸級の改正、院生の激增により屬官四名增員の件
二、海軍々人、艦船部隊等の禮節に關する準則を定める爲海軍禮節令制定の件
三、監獄官制々定の件
四、（イ）專賣公署特別會計追加豫算（ロ）煤油類專賣特別會計追加豫算（ハ）郵政特別會計追加豫算（ニ）康徳元年度一般會計追加豫算
五、新京特別市公署總務處長橋口勇九郎辭官の件

滿洲國辭令

新京特別市政公署 橋口勇九郎
辭官

南軍司令官主催 皇帝陛下御送別宴

滿洲國皇帝陛下御訪日もいよ〳〵數日の後に迫つたので陛下の首途を祝福申上げるため南軍司令官は二十九日午前十一時半陛下を官邸にお迎へ奉つて送別宴を開くことゝなつた

烏澤聲代表 病氣靜養

【東京國通】北鐵交渉全權代表烏澤聲氏は多忙なる交渉のため先般來健康を害してゐたが愈よ交渉成立したのでこの機會に靜養する必要を認め辭表提出中のところ廿五日許可があつたので當分東京に止り出來れば入院靜養する筈である

土肥原少將東上

奉天特務機關長土肥原少將は南軍司令官の命を受け、先般支那視察旅行をなしたる結果につき陸軍當局に重大進言をなすため二十七日正午新京發ハトで東上する筈

土師知事ら來京

朝鮮總督府平安北道知事土師盛貞氏は二十七日午後十時隨員一名とともに來京、向陽ホテルに投宿

岡虎太郎氏來京

前滿鐵理事岡虎太郎氏は令息二名同伴、二十九日午後十時三十分着京、大和ホテルに投宿のはず

谷參事官 東上の途に

駐滿大使館參事官谷正之氏は二十七日午前七時發ヒカリで朝鮮經由赴京したが谷參事官の今次の東上の目的は目捷にさし迫つた滿洲國皇帝御訪日の諸準備打合せのためである、しかし乍ら谷參事官は有吉駐支公使勇退後の有力な候補者に擬せられて居る人だけに或ひは再び歸滿せぬのではなからうかと見られて居る

土屋基男氏 哈爾濱に派遣

新京地方事務所事務員土屋基男氏は哈爾濱鐵路局福祉課庶務係員として三ケ月間の出張を命ぜられ、三十日午前九時二十分新京發赴任の豫定

天皇機關説問題
政府の措置如何重視さる
院外運動擴大の虞れ

【東京國通】天皇機關説に就ては貴衆兩院に於て排撃論が行はれ、議會終了後も院外運動が益々擴大される虞れある爲政府としては速かに之が對策を講ずる必要に迫られてゐるので、岡田首相は廿六日記者團と會見の際も

これは此儘放任出來ぬ、速かに何等かの措置を執らねばならぬ、ぐづ〳〵させてはおけぬ

と言明し、近くこの天皇機關説に對して何等かの措置を講ずる事を明かにしたが、美濃部學説是非より此問題が論議される時勢となれるを洞察して何等かの措置を講ずるとしても之が影響ずるところが極めて廣範圍に亘り、政府の措置如何によつては事態を益々惡化せしめる虞れがあるので政府が如何なる措置を爲すかは各方面より重視されてゐる

有吉公使南京へ
廿八日汪氏と會見

【上海廿七日發國通】有吉公使は今廿七日午前七時堀内、有野兩書記官、横川書記生を帶同、南京に向つた、明日汪精衛氏と會見、廿九日朝歸滬の豫定である

有吉駐支公使
近く勇退内定
後任谷、有田兩氏有力

【東京國通】有吉公使は日支提携策に就き廣田外相に重要進言する爲め四月下旬歸朝するに内定したが同公使はこれを機會に勇退すべく後任としては駐滿大使館參事官谷正之氏、駐白大使有田八郎氏が有力であるが、最近の中に駐支公使館が大使館に昇格する樣な事態に至らば廣田外相としては有吉氏を更に大使に任命し出馬を促す事となるべく有吉公使が辭退せば有田氏の任命を見ると豫想されて居る

（寫眞は谷氏と有田氏）

議會を終へて
政府の措置不許

審議未了重要法案山積に基く會期の延期は必至の勢と見られてゐたにもかゝはらず、貴族院方面の空氣硬化に政府は米穀法案以下十一件の審議を未了のまゝ急轉直下的に議會を閉づるに至つたが、この政府の措置は貴衆兩院を通して左の如く何れも頗る不許である

貴院

【東京國通】研究會の岡部長景子は語る

重要法案總倒れは弱體内閣の證據で政府側が政黨との妥協工作に終始して確固たる信念を缺いたことが其の原因である、現内閣は餘程の改造を行はずには來議會まで六ケしからう

政友

【東京發國通】若宮政友會幹事長語る

議會を通じて内閣の強力なることが明瞭となつたことを痛感する、重要法案不成立に終つたことは内閣の基礎を政黨に置かぬ爲だし會期を延ばして米穀法案の通過を圖ることもしない等はその無氣力を示すものでその前途も推して知るべきである

民政

【東京國通】民政黨顧母木桂吉氏は左の如く語つた

爆彈動議の後始末に前半を過し重要法案審議未了に終つた事は國家の爲に悲しむべきことで議會の成績に不滿の意を表す

國同

【東京國通】野田國同總務は議會の不成績に就き左の如く述べた

現内閣の議會不成績は擧國一致なるべき際に今の顔觸れを揃へたことに原因してゐる如何に頬冠りを續けてゐても近く崩壞のほかなからう、政黨としても現在に於て根本改造し議會に將來あらしめることが肝要である

臨時利得税法案
本月末公布

【東京國通】第六十七議會を通過した唯一の重要法案たる臨時利得税法案は四月一日より施行される事となつたので本法施行を規定する勅令に關して廿七日持廻り閣議に依つて之を正式決定、上奏御裁可の手續きを經て卅日頃公布する事となつた

驅逐艦有明
艤裝完了

【横須賀國通】神戸三菱造船所で艤裝してゐた驅逐艦「有明」は艤裝完了し、正午當港に入港した、尚同艦は四月一日より第九驅逐艦隊へ編入され聯合艦隊所屬と決定した

その日〳〵

□ 國際聯盟脱退の効力けふ愈よ發生『孤立日本』の名譽ある日への首途

□ 南洋統治權の歸屬問題海軍側の主張確固不動、然り東亞平和はこゝから

□ 土肥原少將東上、有吉公使勇退、對支新方針こと期して待つべしか

□ 風紀を紊すエロ女給どもに當局取締の眼光る『滿洲だから』といふわけに參らぬか

□ 春競馬の準備なる、本春こそいざこざの起らぬやう先づ以つて一石を下して置く

人事往來

▲原口定氏（京城會社員）二十六日午後來京ヤマトホテル投宿
▲二宮常一氏（同）同
▲大園長喜氏（大黒河）同
▲長井次郎氏（鞍山會社員）同
▲福本順三郎氏 大連税關長 二十七日午前發大連へ
▲兒島安之氏（兵庫縣會社員）同ハルビンへ
▲石田司郎氏（岐阜縣會社員）同
▲ケー、エー、バルザー氏（駐哈獨國總領事）同
▲有富光門氏（東京會社員）同
▲松田竹七郎氏（同）同
▲稲葉四郎氏（陸軍少將）二十六日午後來京
▲谷正之氏（大使館參事官）二十七日午前發内地へ
▲芳賀千代太氏（ハルビン鐵路局機務課長）二十六日午後ハルビンから來京同四時發奉天へ
▲中井若松氏（陸軍中佐）二十六日午後來京名古屋ホテル投宿
▲赤塚眞淸氏（大同産業會社總務課長）同
▲皆川成司氏（大林組大連出張所建築課長）同
▲村上藤一郎氏（ハルビン特務機關員）同
▲菅沼嘉男氏（大連會社員）同
▲長永義正氏（大連商工會議所理事）同
▲加藤正好氏（ハルビン會社員）同
▲山内靜夫氏（電々總裁）廿七日午前九時來京名古屋ホテル
▲三夕氏（電々副總裁）同ヤマトホテル
▲井上乙彦氏（電々重役）同
▲前田直造氏（電々重役）同名古屋ホテル
▲西田猪之輔氏（電々重役）同ヤマトホテル
▲中田末廣氏（電々技術部長）同
▲和田芳男氏（電々主計課長）同向陽ホテル
▲瀬田常男氏 電々人事課長 同名古屋ホテル
▲田村彦藏氏（電々文書課長）同大丸新館
▲小田正治氏（電々會計課長）同
▲三井實雄氏（電々副參事）同名古屋ホテル
▲村上勝一郎氏（ハルビン特務機關長秘書）同
▲中田季廣氏（電々會社技術部長）同ヤマトホテル投宿
▲增 氏（參議府參議）同

＝限りある人生＝（六）
強請 82
夏川靜江作

高村は何となく語尾のふるへるやうな調子で云つた。田久保は、それが聞えなかつた振りをして、

『貴方、人の口と云ふものは、仕様のないものですな。どうにもこいつばかりは塞げませんです。實は、から云ふニュースが入りましてね？』

内ポケットの中を、ごそ〳〵云はせた田久保は、何か、原稿のやうなものを取り出しながら

『吾々の手にニュースとして入つて、見ますと、これは、公の報道機關として、どうにも發表しないわけにはまゐりません……』

緋沙子のはうへ向けながら、だまつて立つてゐた。組しやすいと見て取つたか、田久保は、いよ〳〵露骨になつて、

『とにかく、何とか色をつけて頂くんですな！同僚のひとりが、警察へまで引つぱられたとしたら、どうも、このまゝぢや一寸引つ込めんですよ』

『一つ、相當な原稿料で、是非買つて頂きたいです！そして。この原稿を、僕の見てゐる前で破くんですな』

『……』

『大したことは要らんです！』

『――』と、高村が、手を出すと、

『いや、お待ち下さい！』

と云つて、田久保はちつと笑ひかけたが、直ぐ鋭い眼で、

『これは、御相談のうへで、ある交換條件でないと、お渡しすることは出來ないです。つまりこの原稿はですな？』

緋沙子の方を一寸見て、

『要するに、貴下方の醜聞を書いたものですが、それに、もう一つ！』

と、一寸、言葉を切つて、

『あなた方が、恐らく、こゝ兩日中には……いや、もつと瞭然云へば、明日中には、この東京を脱落して、ロンドンへ行くと云ふことも書いてあるのだ』

と、田久保の言葉じりは、急に、粗くなつて、

『どうです、おどろきましたかね？』

と、嘲笑ふやうに、云つた。

高村は、あきらかに狼狽してゐた。蒼白の顔を、ちら〳〵と緋……

しての、本領を發揮したのであつた。

『だが前の原稿を、父が買つたと云ふのだつたら、その原稿も父の許へ持つて行つたら、いゝでせう。ねえ、緋沙子さん…』

高村は、から救ひを求めるやうに、緋沙子のはうを振り返つて云つた。

『これは怪しからん！第一、貴下のお父さんが、今後如何云ふことがあつても、倅のことには一切關はらんから、萬事は、倅に掛合へと……』

田久保が、から云つたときであつた。

『芳夫さん、一體、どうなすつたと云ふのでございますの？』

から言つて、緋紗子が。初めて口をひらくと、田久保のはうへ、一寸會釋をして前へ出て來た。

田久保は、この緋沙の態度に瞬間、どぎまぎした様子が見えた。

軍の名を利用する"利權屋"斷乎取締
"赤帽"問題の眞相を探究して 果然憲兵隊動く

新京驛の赤帽利權が突如として陸軍豫備中佐井上猪三郎氏に許可されることについてはそこに何等か不純な動機があるのではないかと疑はれてゐるが、殊に新京憲兵隊本部では近頃在郷軍人にして恰も軍の背景でもあるものゝ如く見せかけて、利權漁りをなし地方の反感を買ふ者がないでもないので、事件を極めて重大視し今度の問題發生いらい事こゝに至つた動機に以來、その眞相を突止めるべく八方活動を開始すると共に今後の成行きについて深甚の注意を拂つてゐる、右に就き新京憲兵隊本部春日特高課長は語る

新京驛の赤帽利權問題につき眞相をつかむべく調査を進めてゐるが、この外に色々と關東軍の名を利用し、當局から諒解された如く裝ひ利權漁りをやつてゐるものがあるがこうしたものに對しては當局は斷乎として取締をなすつもりである

通話區域擴張！
愈々來る四月一日から實施 中央電話局躍進

新京中央電話局では來る十一月大同廣場の本社の完成、滿洲國電話局の合併統一、今年寄附電話の架設等を控え着々準備を進めてゐるが、事變後統制を欠いでゐた通話區域を擴張し四月一日から實施することゝなつた、新區域は從來區域外だつた新發屯の第一次都市計畫區域をはじめ寬城子飛行場、競馬場、南新京驛の外廓を圍む彰義街、明昌路、黄龍公園の東側通り南嶺に至る線を限り、伊通河以東の輕工業地帶、特別地帶および東站方面は區域外と決定したたほ區域外は境界線より百米を隔る毎に架設料三十圓、使用料月四十五錢を要するが今回の區域決定に當つては直接利害關係を生ずるところは殆んどない模樣である

ハルビン野球部 聯盟加入か

北鐵接收を機會にハルビン野球部では新に全ハルビンチームを組織することに決定し田中野球部長の名によつて滿洲野球聯盟に加入すべく目下準備をなしてゐる旨全新京野球部源川監督の下に通知があつた

前科一犯の 拐帶店員逮捕

自稱愛知縣生れ市内敷島通り中村蒲團店元店員中島増太郎（三十）は同店に傭はれ中三月一日蒲團代金九十四圓を横領姿を晦してゐたが二十七日午前六時頃驛前滿人旅館に宿泊中を新京署岩田刑事に逮捕された取調べると中島とは眞赤な僞りで實は本籍岐阜縣生れ伊藤勇吉で前科一犯の曲者と判明目下余罪を嚴重取調べてゐる

皇帝陛下御訪日の 準備全く本極り
けふ關東軍で最後の打合せ

滿洲國皇帝陛下御訪日に關する業務打合せ會は二十七日午後二時から關係各機關代表ら參集のうへ關東軍司令部第一會議室で開催される、審議は主として宮内省側よりの連絡事項を中心に行はれるが、同會は恐らく御出發前最後のものとなるべく、各機關でも十二分の研究準備をなし御訪日に關する打合せを全部完了することになつてゐる

ふけ 聯盟脱退効力發生
講演と映畫の夕
午後六時から記念公會堂で

けふ國際聯盟脱退効力發生の日！日滿各地ではこの記念すべき日を有意義に過すべく各種の催しが行はれてゐるが新京においても在郷軍人聯合分會が中心となり二十七日午後六時から記念公會堂に於て講演と映畫の夕を催し非常時を再認識することゝなつた、まづ午後六時一同整列聯盟脱退の詔書を捧讀、聯合分會長四戸友太郎氏起つて聯盟脱退の効力發生と國民の覺悟に關し講演あり引續き映畫▲政治は強し、全八巻▲躍進三十年、全四巻▲外民譜、二巻を上演この日を有意義に記念認識を深めることゝなつた、入場無料各方面の參列を歡迎してゐる

朝鮮細民學校 寬城子義塾を 篤志の七氏が援助

寬城子にある朝鮮細民學童のための私立寬城子義塾は塾長李鴻周、教員嚴益煥兩氏の獻身的努力の結果、一昨年開塾當時は僅か廿一名の學童であつたが、最近では生徒數も百卅一名に上り、去る廿四日第一回修業式を擧行したが、何分經濟的には惠まれぬ人達の子弟ばかりなので、月五十錢の月謝の徴收さへ困難な現狀で非常に困窮してゐた、之を聞いた阿片零賣所登震閣主の曹貞變氏（積善社理事）等同業の七氏が寄々協議の結果、向後右七氏が各々毎年百五十圓宛を醵出し、尚其他に曹氏は月々卅圓宛を經營雜費として寄附する旨を同塾に申出たので、李塾長、嚴教員並に寬城子居住朝鮮人は感激してゐる

オリムピック委員會 今後も東京招致に運動

【東京國通】東京市オリムピック委員會は第十二回オリムピック東京招致に今後も熱心に運動を續ける事に意見一致し昭和十年度豫算として八萬

旅館に出張に及ぶ エロ女給に怖い眼
國都新京の面目を穢さぬやう

彼岸あけから急に春めきたつてきたせいか近頃市内滿人浴場、阿片零賣所に遊女が頻繁に出入し風紀を紊してゐるとの風評あり日本人のカフェー女給、ダンサーなども營業が終つてから旅館に出張に及ぶものも相當あるらしく内地方面からの旅行シーズンに向ひ新京署では取締を一層嚴重に違反者は斷乎處罰する方針で内査を進めてゐる

春野百合子一行 明夜公演

既報、女流浪界の雄春野百合子一行はいよ〳〵廿八日乘り込み同夜より記念公會堂で開演することに決定して居るが百合子は新興浪曲の旗印を振りかざし獨創の藝風を以て東都新橋演舞場に第一聲を擧げて以來多年斯界の最高峰の寵兒として名聲を博して居るので新京ファンをウンとうならすことであらうと

森清氏逝く

新京地方事務所勤務タイピスト森ナミ子さんの實兄、新京花園町二丁目十二番地森清氏

京濱線 第一、二列車 到着驛

京濱線の驛は全部で二十驛あるが第一列車（午後三時新京着）第二列車（午前九時二十分新京發）は左の八驛に停車するだけ

新京、寬城子、よう門、陶賴昭、三岔河、蔡家溝、双城堡、ハルビン

石田博士講演

慶應大學教授石田文治郎博士は二十七日來京、地方事務所主催で講演會が開催されることになつてゐるが時日未定

石炭配達の 馬車ニーヤに御注意
マンマと六圓五十錢騙らる

市内祝町四丁目十六番地黄韓虎氏は二十三日午後零時頃自宅前で石炭商組合馬車二百十五號馬車夫城内西二道街陳黄和に石炭半噸を注文したところ馬車夫陳は「鮮人には現金でないと賣れない」といふので金六圓五十錢を前渡し二十四日正午になるも石炭を持つて來ぬので不審に思ひ組合に問合せると全然注文したことになつてゐないので黄氏は始めて馬車夫に六圓五十錢を横取りされたこと判明直ちに新京署に届け出たが署では被害は少額であるがしば〳〵馬車夫の悪事を耳にしてゐるので此際斷乎處罰する筈である

水曲柳驛に 匪襲
日本兵一名戰死

【ハルビン國通】去る廿四日午前八時頃拉賓線水曲柳驛東方に輕機關銃を有する匪賊約三百襲來せりとの報に接した水曲柳分遣隊長佐藤軍曹は部下〇〇名を率ゐて直ちに出動之と激戰の結果多大の損害を與へて撃退したが、本戰鬪にて二等兵金澤豐（大分縣大野郡野津市村出身）は腹部に盲貫銃創を受け壯烈な戰死を遂げた

五千八百二十六圓支出の件を可決（昭和十年度追加豫算として市會に提出方を申合せた

春競馬の出場馬 二百十三頭
登錄廿五日終る

新京賽馬倶樂部では本春の大競馬大會に出場する馬匹の登錄受付を行つてゐたが二十五日登錄を終つた、總出場馬は二百十三頭で内新抽籤馬九十四頭、各抽籤馬七十五頭、新呼馬二十二頭、古呼馬二十二頭である

はさきに新京建設局より寧北に轉動、不幸病を得て奉天醫大醫院に入院中のところ、二十六日逝去し二十七日遺骨着京、二十八日午後四時から曙町經王寺において葬儀を執行する

新京ジャーナリズム戰線に眉目秀麗但し非常に内氣なＸ君といふ青年がゐる、所で彼氏の所へ先日ヴイクターのレコードに付いてゐる歌詞を書いた紙を匿名で送つて寄越した人があつた、何處の麗人だらうと物議をかもしてゐるのだが彼氏は一向心當りがないと言つてゐる、本當かどうか、兎に角その歌詞を御披露に及びます—

あゝ誰ゆゑに
あゝこの頃は
眠れぬわたしよ
誰も知らない
あゝその夢の
あゝ鍵を持つは
なつかしいあゝ
あゝあなたよ

在郷軍人分會 （四）
聯合分會長 四戸友太郎氏談

長春回顧

五月七日拂曉長春守備隊長より團長へ電話を以て獨立守備隊に應急準備の命令下れるの通知あり依て團長は直ちに守備隊に至り守備隊長より指示を受けたり、團長は直ちに事務所に至り電話を以て各委員及各區隊長の即刻事務所に集合を命ず午前八時各委員各區隊長集合せり團長は守備隊應急準備實施の件並に器具材料蒐集の件を傳へ業務の分擔を命ず午前十時頃より團員續々集合し來り午前十一時團員二百六十名に達したり之を五隊に編成す滿鐵醫院前及貨物倉庫前に於て荒川大尉指揮の下に全力をつくして作業に從事團員の意氣旺盛三時間にして合計三千個の土嚢を作り一方には炊事場を設け約三百名の炊き出しをなす、本日午後一時頃渡部中佐（獨立第一大隊長）は范家屯以南の第一大隊全部の守備隊を引率して停車場に下車し第一第二中隊は滿鐵倶樂部に宿營し第三中隊と機關銃隊通信班は長春守備隊内に宿營せり之を見たる日本人は頗る安堵の樣子見へたるも附屬地居住の支那人は急に恐怖心を出し城内に逃げ出すもの甚だ多し午後四時五十五分公主嶺獨立守備隊司令官到着ヤマトホテルに投宿、團長に渡邊中佐も同席して義勇團創設以來の軍況を逐一報告し支那側に關する一般の狀況並に日本人の狀況を報告す、急に山内領事嚴崎經理主任松下大尉宮原憲兵分遣所長ら司令官の旅館に會して會議を開きたり滿鐵本社よりは明日午後七時を第一回として都合三回の臨時列車をもつて長春の居住民全部を大連に避難せしむべき命令ありしにより經理係主任は已にこの手配をなし新聞廣告をなす等萬全の措置をなす

五月八日曇後雨

本日午前五時步兵第五十聯隊の一大隊到着す午後五時騎兵第十七聯隊の一中隊到着す、

木氏守備隊將校は情況を知らんとして南嶺支那騎兵營を訪問したるに喜んで面會し何等戰鬪準備なし又長春道伊は本日ヤマトホテルに於て司令官及領事と會見したりといふ之等を見ても支那側一般に戰鬪の意圖なきものと認めらる夜に入り大雨となり市中益々沈靜し平和解決の風說到る處に喧し

五月九日快晴

早朝長春日報は左の號外を出す

關東都督府公報

日置公使は支那政府より我要求の全部承認の通牒を受領せり

五月十一日東公園にて解團式を行ひ四戸團長解團宣言書朗讀閉宴と共に山内領事は天皇陛下の萬歳を嚴崎經理主任は團員の萬歳を三唱し、團長は長春居住民の萬歳を三唱し其際天地を震動し長春未曾有の盛會なりし、實酣なるに及び有志交々起ちていろ〳〵萬歳を三唱し見物のロシア人

を連れ來りて酒を勸め歡談盡るを知らず午後四時頃に至り大半解散したるも中には夜間の提灯行列を企て居るもあり園内は喧噪甚し午後五時全く解散す、因に歴代の會長を示せば左の如くである△初代步兵中尉櫻井經理（自四十五年二月十一日、至大正三年十月三日）二代步兵大尉四戸友太郎（自大正三年十月三日至十年六月十八日）三代砲兵少尉田原稔（自十年六月十八日至十五年五月廿八日）四代四戸友太郎（大正十五年五月廿七日より現在に至る）（終）

永らく連載しました長春回顧は本稿を以つて擱筆します貴重なる材料を提供されました各位に對し深甚の謝意を表する次第であります（寫眞は（上）明治四十二年長春驛機關庫附近における線路工事と（下）明治四十一年長春小學校上棟式）

天氣と氣温

明日の天氣　北寄りの風晴一時曇

日の出　午前五時二十九分
日の入　午後六時〇分
月の出　午前一時卅三分
月の入　午前十時十四分
けふの最高氣温　二〇七
最低零下　八度九

けふの銀相場

金票對國幣　一〇二・〇一
金票對鈔票　[illegible]
鈔票對國幣　[illegible]
現大洋對鈔票　寄不申

愚息清儀豫而奉天病院ニ於テ入院加療中ノ處藥石効ナク參月貳拾五日午前拾壹時拾五分死去仕候間此段謹告仕候
追テ葬儀ハ參月貳拾八日（明日）正午四曙町經王寺ニ於テ施行可仕候
昭和拾年參月廿七日
父 喪主 森梅市
親戚總代 森喜明
同 森金市
友人總代 黒岩貞雄
同 尾崎靜作
同 永島高一
縣人總代 荒木伸馬
白菊區總代 神瀬龍太郎

新撰爆笑隊

（禁上映上演）　辰野九紫作　永田八浦閼英太朗畵

時代篇

三九　時雨の小判（一）

美しい年增を挾んで、何やらおしやべりの兩人を、よいお客樣ござんなれとばかり、兩側の番頭共はやかましい。

『さア／＼、寄つて御座りませ――。一度や二度水をくゞつたからとて、剝げるやうな染め方は致して居りませぬ。洗へば洗ふほど色のよくなる有松絞り、一反買へば身の供養、三反買ふのは店の爲め……』

『え〻、如何さまで……旦那、旦那、そちらの若旦那――ずつと奥へお入りなされ。お氣に召た柄がなかつたら、手前の首でも六尺でも、何でも差し上げませう。』

『そんな穢えものはいらねえ』

『えツへツへ、御冗談で……降

『い〻え、あちら樣がお二人の中のどちら樣に氣あり名古屋か――その邊の寸法がわかるといふんです。』

『あはん！お前は人相も見るのか。』

『へえ、たゞ少し……もう一息といふ點があつて、惜しいところで掌中の珠を逸しますか、ませんか、只今が、大切な瀨戸際で……』

『うん、それよ、番衆――何とか工夫があるか。』

『そこですナ、若旦那――これを一反お求めなされませ。女ごころは絞りの浴衣……僅かの奢りで手に入りますよ。』

『ふうむ、幾何だ？』

『へえ、ずんとお安く勉强致しまして、え〻と、三十五匁ではどうで御座んす。』

麗か織いかまだお目通り致しません。』

『おきやがれ、そんなものは見ねえでも、大抵、顏の造作で見當がつく。』

『へえ、それぢやアあなた樣のもツウトウなもんで……』

『この野郎――毆るぜ。』

『いや、御免なされませ。――どうぞ、その意氣で一つお見立て願ひます。これなんか、今師走べたばかりの初見世で……』

『ははア、さうすると、一番向ふの奴がお職か。』

『どうも、御眼力のほど恐れ入りました。まつたく、あの柄は美人向きで御座いますが、こちらですと、あちら樣のやうな粋なお方にはよくお似合で……』

『どちら樣にもよ。』

『えツへツへ、若旦那――殺生ですよ。手前も永年の商賣ですもの、大抵、顏の造作で見當がつきまさアね。』

『さうか、そんなに俺らの顏の下らは見えるか。』

『男前にするなよ江戸ぢやア絞りの染で十五匁が飛び切りだぜ』

『江岡と一緒にされちや絞りが泣きます。ねえ、若旦那――時鳥に饒つて三十ドタ匁八分！』

頭兵衞と鶴吉同樣――向ふ側の店で、い〻加減に操られて、これはまた大騷ぎである。

『もつと高えのはねえか。』

『へえ、これが此の類の極上……何しろ旦那――品が木綿ですから、これ以上はお氣の毒で頂戴出來ません。』

『さうか、俺らは昔に名高え有松絞りといふからには、絹糸の入つてるのがあるかと思つた。それでは仕方がねえ、これにしとかう。』

『有難う存じます。あちら樣も定めしお悦びのことで御座いませう。えツへツへ……』

『ハテナ、番衆――ほんとに、この絞りは木綿ぞツきか。』

▲―▼

ラヂオ

二十八日（木曜）新京

午前之部

六、三〇　ラヂオ體操（滿語）
七、一〇　中等滿語講座（大連）
六、五〇　ラヂオ體操（東京）
七、四〇　中等日語講座（奉天）
講師　秩父固太郎
講師　近藤喜助
八、三〇　經濟市況（東京）
九、四〇　經濟市況（大連）
一〇、〇〇　料理獻立（奉天）
一〇、二〇　經濟市況（大連）
一〇、四〇　經濟市況（東京）
一〇、五九　時報（東京）
一一、〇一　經濟市況（東京及大連）
一一、四〇　ニュース（東京）
〇、〇一　經濟市況（大連、引續新京）
〇、三〇　ニュース（滿語）
〇、四〇　ニュース（レコード）
〇、五〇　演藝（滿語）
二、〇〇　經濟市況（大連）
二、二〇　成人講座（滿語）
關岳史略（第六講）（奉天より）
奉天敎育第二初級中學校　實有康
二、四〇　日用品値段（滿語）
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連、引續新京）
三、五〇　ニュース
四、三〇　ニュース（鮮語）
四、四〇　演藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間
童話　姉弟のまごころ　川村三郎
五、二五　氣象通報、番組豫告（東京）
六、〇〇　ニュース（滿語）
六、二〇　政府公報（滿語）
六、三〇　皇帝御赴日記念講座（第二講）
中央銀行總裁　榮厚
七、〇〇　朝鮮民謠
ポリドールオーケストラ（京城より）
一、谷間の水車
二、花を持ちて
三、なつかしのアリラン
四、南方の追憶
七、三〇　浪花節（東京）　東家三樂
八、〇〇　連續ラヂオ小説
恩讐の彼方へ（三）（東京）
菊地寛原作　AK文藝部脚色　梅島昇
八、三〇　時報、ニュース（東京）
引續き　ニュース
八、四五　ニュース、經濟市況　氣象通報、番組豫告（滿語）
九、〇〇　劇
新京公餘雅集票友
擊鼓罵曹
膽鴻軒主
予若軒主
金陵客
玉館主
外文武場面八名
一〇、〇〇　北滿の時間（露語）（哈爾濱）
一、講演　ニキフオーロフ　ポリシエヴイズムは文化の敵なり
二、レコード
三、ニュース

木曜　三月二十八日　舊二月廿四日　癸卯　先勝　建　井宿

●一白の人　目前の利に迷ふて大計を破らぬ樣にすべし　辛と壬と癸が吉
●二黑の人　行く先に塞がりの生ずる日旅行金談殊に凶　丙と壬と癸が吉
●三碧の人　我より好意を以てせば人皆附隨し來るべし　庚と辛と丑が吉
●四綠の人　志操堅固なれば活氣も從つて生じ來るべし　巽と庚と辛が吉
●五黃の人　出入を正しくし時を計りて動けば過ち少し　卯と未と癸が吉
●六白の人　平和の中に目立たずとも自然增收あるべし　甲と丙と未が吉
●七赤の人　進むこと七分守ること三分なれば間違なし　乙と未と壬が吉
●八白の人　疑ひ深きは好機を失することあり進取が吉　甲と丁と癸が吉
●九紫の人　目上の感情を損じ易し務めて冷靜たるべし　丁と辛と戌が吉

新進青年手合（其十三）

染谷一雄（三段）
先番　泉谷實（初段）

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

○□三四　かノ九
●□三五　ろノ十四
○□三六　にノ八
●□三七　ちノ十
○□三八　はノ九
●□三九　ろノ八
○□四十　たノ二
●□四一　たノ一
○□四二　れノ三
●□四三　そノ二
○□四四　そノ三

六段　久保松勝喜代講師

白百三四の截り手は大きくも有り、又妙も良い。

黑百三五と曲つたのも好點ではあるが、此の手では先づ百四四に尖み、白其の時（い）黑（ろ）白（は）黑（に）と先手で利かすが良い。

白から百四十黑百四一白百四二黑百四三白百四四黑（ほ）と云ふ樣な結果になるよりは、六目の得である。此の細碁に於て六目の差は大きい。

白百三六を（へ）に受けてゐるも小さくないが、夫れでは後手である。此の白百三六は次に百三八の先手も含んで居るのみならず、中央の黑の退路を斷つて、（と）に眼を取りに行く狙ひを持つて居るのである。

白百三八は先手の打得。

黑百三九は斯く粘く外はない。

白百四十と出で、百四二と打つたのは大きい。

黑百四一と繋つたのは此の一手である。

黑百四三と出たのも此の場合としては大きい。

白百四四を忘ると、黑から此の點へ先手で曲られる。

大連經濟觀照（三）

岡本理治

「此は此等の年に於ける倫敦銀塊相場の高低に一瞥を與ふれば直に了解され得るものである、一九一九年には七十九片八分の一に昇りたるを以て金は鑄貨、地金等の形態にて輸入されたのである、一九二〇年の春季に八十九片半と謂ふ未曾有の高値に達した、此の爲めに五千一百萬海關兩と云ふ金が支那に輸入された、然るに間もなく反動が來た、銀塊相場は三十八片八分の七に低落した、其處で支那は六千八百五十萬海關兩の金を手放した、一九二一年には三十片八分の五の安値に落ち、一九二二年には三十七片八分の五に引返した、此が爲め

金は 再び輸入超過となつた、一九二七年には銀塊相場が二十四片四分の三乃至二十八片なりしものが、一九二八年には二十六片十六分の一乃至二十八片八分の七の高値に引返した、此の爲めに、一九二八年には更に金の輸入超過を惹起した支那にては金銀の流動は流通性資本としての金の價格に繼因するものにて、貿易の差額に影響されざるものである、』

此解釋は意味深長である、支那人は手許に持てる財産は金にても銀にても無關心である只夫を運用することによりて財利を得ることを念願とすることが之によりて明にされてゐる、此故に現下の如く貿易の逆調の爲め銀の流出を余儀なくする上、銀價の急騰を見れば密輸出しても利益を博し、日常は銅錢にても、信用通貨にても又は紙幣本位にて財利の上に事を欠かざるを知り、之を實行し居るのは當然である、故に銀資の逼迫を感ずれば支那人社會は何の苦痛もなく紙幣本位となるのである、然し紙幣本位となれば支那銀行も外國銀行も協力して共運用に當らざれば不測の禍を釀すので是れがマキー氏の第二言句となりて表現されしものである

先日私は當地の恒裕錢莊に遊びに往きしところ常深君が岡本さん上海の通貨は結局何になるかと尋ねし故私は現在にては種々の説をなすものあれども或一派の銀行業者の唱へ居れる管理銀本位に落付く可能性最も多いと答へた、更に任召南君の福和盛錢莊に往きしところ岡本さん錢鈔相場は如何になり行くかと問ひし故、私は上海は其通貨が漸次に不換紙幣即ち紙幣本位になりつゝある、紙幣本位ならば鈔票や國幣も同様である、銀價はアメリカが銀買上を續行する限り六十四仙半位迄騰貴するであらう、然し銀は現在上海通貨とも大連通貨とも離れつゝあるが諸君は未だ此邊の消息を混淆せる節あるに非ずやと想ふ、アメリカが

現在 の銀政策を放棄せざる限り銀は上騰すべし、之により惹起さるる上海に於ける現銀の流出は必然に上海の內外銀行の發行紙幣に紙幣本位の性質を帶有せしめ、大連の鈔票、滿洲國の國幣をも同様紙幣本位の實質を帶有せしむる、紙幣本位は元より其市場又は其國の經濟的實力を表現したる一定の價値に安定すべきものなれ共何れの點が眞の安定點なりやを確むるには現在の經濟統計其他の學問にては決定し得ざるものである、事變前に奉天票の騰落の豫測に困難なりしと同様の事象が現在支那各地の通貨の上に現れ來りつゝある、現在の如く銀資流出惹いて銀資逼迫の情形に脅威されつゝある時は、免用紙幣は下落したがるが、銀は上騰したがるものにて、茲に二律背反的矛盾が起る、大連錢鈔相場の昏迷せるは之が爲めであると謂つた、私の恒裕錢莊にて又福和盛にて語りし所は、香港上海銀行のマキー氏の語りし所と一脈相通ずる節合ありと想ふ、斯る情形が遂に日滿支の通貨同盟に或暗示を供するものありとも想はる、幣制問題は舊くして矢張新しき問題である、我等は洞察に徹して將來の大計を樹立する必要ありと信ず（了）

橫濱復興博 愈よ蓋開け

【橫濱國通】橫濱復興大博覽會は全國の期待に背かず各會場の出來榮えは素晴しく朝來より押かけた入場者を迎へて廿六日午后一時から盛大に蓋を開けた

滿洲國石油統制 日本の態度表明

外務省から英國へ覺書送達

【東京國通】滿洲國石油統制に關し昨年十一月二十四日英國大使より、同三十日米國大使より抗議あつたが、右英國の申入れに外務省では左の覺書を廿五日送達した、要旨左の如し

一、英國側は滿洲國の新石油統制は滿洲國數次の宣言に反し又之に關聯する日本政府の措置も明かに條約違反だと述べてゐるが政府としては從來の主張變更の理由は少しも見出せぬ

一、英國政府の主張は滿洲國の獨立を無視するものである

一、政府としては石油問題に關し關係各社の圓滿なる業務上の妥協に斡旋の勞を惜しまぬ

一、政府では滿洲國承認の根本問題に就き今回英國が再度議論を誘起せるを遺憾とす、要するに滿洲國政府の行爲に對し我政府に責任を負へとの申入れや滿洲國の獨立否定を前提とする一切の主張は政府に於て同意し得ない

金融合作社 理事講習所 生入所式

數百名の希望者中より試驗に依つて選拔された金融合作社理事の卵たる同講習所生三十五名は最近財政部より夫々採用の通知を受けたが愈よ來る四月一日午前十時新京中央通り財政部分館に於て財政部首腦部列席の下に入所式擧行されることになつた、同講習所生は向ふ三ケ月間理事として必要な仕事の講習を受け七月初旬各地方の金融合作社に配屬される筈である

米穀產繭 兩法案流產

政府の農村政策行詰る

【東京國通】米穀及び產繭兩法案が遂に流產した事は今後の政府の農村政策に重大なる致命傷を與へるもので今回の兩法案の流產は自由主義經濟から統制經濟に移る途上の大きな躓きを意味し政府の農村政策は今後特別事情が變らない限りしばらくは全く足踏みの狀態を續けざるを得ないと見られ農林當局は茫然自失の態である

日本茶の世界市場進出に 英國對策に腐心

【東京國通】茶の世界三大生產國印度、蘭領印度、セイロン島では價格の暴落に生產制限を實行してゐるにも拘らず獨り日本製茶業のみは增產一方で今や世界市場に進出し殊に紅茶の進出が目覺しいので英國ではこれが對策に神經を尖らせてゐる

法案握潰しで

銑鐵供給阻害憂慮さる

【東京國通】鐵鋼關税引下げ法案は今期議會で遂に握り潰しの運命に逢着したが右鐵鋼關税引下げ法案に就ては銑鐵關税半減は銑鐵供給は內地のみを以てしては不圓滑の爲已むを得ないとするも鋼材關税半減は鐵鋼界の實情に即し鐵鋼協議會はじめ東京、大阪各商工會議所鐵鋼國策研究會及び全國鐵鋼組合聯合會等はこれが反對運動を行ひまた鐵鋼市場就中鋼材市場は右法案の議會提出に依り各種鋼材とも四圓乃至十圓方の暴落を來し市場混亂に陷つたが、右法案握り潰しに依り鋼材市場は一先づ安定して鋼材市價は關税改正案提出前まで回復の道を辿るものと見られる、しかし銑鐵關税半減に就ては上述の如く供給不圓滑の際財界一般に於ては當然の處置とされ寧ろ外國銑鐵の輸入に依り需給の調節を期待して居たので右法案の握り潰しは今後の銑鐵供給を甚しく阻害するものとして憂慮されて居る

電々會社

あす第二回株主總會

電々會社第二回株主總會は二十八日午前九時から記念公會堂に開催山內總裁以下各重役日滿監督官廳當局者、株主出席九年度決算並に利益金處分案の決定をなす筈である

國際船舶合理化案に對する 日本獨自案

【神戶國通】國際船主會議で實行せんとする國際船舶合理化案について日本船主協會では原案を審議し日本の國情に適することが出來る程度に改訂すべく審議をなしつゝあるが一方日本獨自の立場を考慮して獨自案を作成することゝし過般來協議中であつたが二十六日午後最後の特別委員會を開いて協議の結果解體を條件として或る期間の繋船を承認し、先づ總噸數五百萬噸を目標とする解體案を議決したので更に二十八日臨時理事會を開いて承認を求めることゝなり他方原案の審査について廿八日に特別委員會を開いて審議することゝなつた獨自案左の如し

一、大體總噸數五百萬噸を目標として解體せしめる

一、總噸數三千噸以上又は純噸數一千噸以內を除外す

一、運航船より徴收する金額は大體二志見當とする

一、新造船は制限せぬ

一、解體船は國籍を論ぜぬ事

蘭印全輸入品に對し 國別割當制定

【東京國通】在バタビア越田總領事より外務省への着電に依れば、蘭印政府は全輸入品に對し國別割當を制定すべく具體的審議を進めてゐると

海外經濟

倫敦現塊 二六片八分七
同 先限 二九片000
紐育銀塊 六一仙四分一
米英爲替 一七留比一六分九
米日爲替 二九仙
米支爲替 三九弗000
スチール株 二六弗八分三
アナゴンダ株 九、八分七

▲米 棉
現物 一二、一五
五月限 一一、三三
七月限 一一、八
十月限 一〇、八五
十二月限 一〇、七五
三月限 一〇、八九

▲上海日本向
第一回 一三九、000
第二回 一三九、二五0
第三回 一三九、二五0
第四回 一三九、二五0

▲上海倫敦向
第一回 一志八片 一六分一
第二回 一志八片 一六分九

▲上海紐育向
第一回 三九弗 一六分三

▲上海標金
第二回 三八弗八分七 三九弗000
昨引 八五三、000
高値 八五四、000
安値 五一00
本寄 八四六、五0

▲大連金鈔票
現物
寄付 一三六五00
引 一三七五0
高 一三六00
安 一三五七0
出來高 一二五四九元
三月二十八日限 四月十三日限
寄付 一三八四五0

▲大連上海向
引
高
安
出來高
大連鈔票銀大洋
現物 一〇〇二五〇 一〇一〇〇

▲大連標台向
一〇〇七五
一〇〇九〇〇
一〇〇八五〇
一〇〇五五〇
一〇〇四〇〇
一〇〇三五〇
一〇〇八〇〇

▲阪神日米
前場 二八弗 八〇〇
後場

各地市場

▲大阪株式
大株新
大紡
鐘紡新
鐘紡新

▲同短期
大株新
鐘紡新
東新
日産

▲大連株式
五品
先限
豆新

▲奉天株式
東新
鐘新
日産
大新
滿鐵

▲仁川期米
當限 二七九九
中限 二八三
先限 二八七

▲大連特產
◇大豆
發込
三月限
四月限
五月限
六月限
七月限
◇豆粕
現物
三月限
四月限
五月限
六月限
◇豆油
現物
四月限
五月限
六月限
七月限
◇高粱
現物
三月限
四月限
五月限
六月限
七月限

新京市況

◉特產現物
大豆 三、六五 三車
高粱 三、00 二車
小豆 三、四0 一車

◉特產先物
大豆
四月限 四、一三 二車
出來高
五月限 四、三一 四車
出來高
六月限 四、三三 九車
出來高
七月限 四、三三
出來高 二八八車

◉錢鈔先物
三月廿八日限
金票對鈔票 一三八、二五
出來高 四萬圓
四月十三日限
金票對鈔票 一三八、五0 一三七、五0
出來高 十三萬四千圓
四月十三日限
國幣對鈔票 八0、五0
出來高 一萬九千圓

◉錢鈔
金票對國幣
金票對鈔票
鈔票對國幣
現大洋對鈔票 寄不申

大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊　夕朝刊共十二頁

發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

"對機關説"の措置
政府延引せば相當の決意
陸相軍事參議官會議で言明

【東京國通】陸軍省では廿七日午後時二より省内大臣室に非公式軍事參議官の會合を開き、林陸相、菱刈、渡邊、眞崎、荒木、松井、川島の各軍事參議官、杉山參謀次長、橋本次官、永田軍務局長等參集林陸相から今議會の經過に就き報告し政府が農林關係の幾多の重要法案を殘して會期延長を行はず議會を閉會した事情に就ても報告した上、今議會に於て協贊を經た陸軍豫算其他關係事項に就き詳細説明し今後之が事項に關する方針を説明して諒解を求めた後更に陸相は、目下重大問題となつてゐる天皇機關説は國体觀念に關する根本をなす重大問題であり、皇軍の教育統制の根本にも關する重大問題であるため、斯る學説は速かなる消滅を期し國體の明徴に對する處置をとるべきであるから岡田首相に對しても速かに解決を圖る可しとして再三督促して居るが、政府に於ても之が處置に就ては愼重考慮中であるから、近く何等か適當の處置を執ると思はれる、しかし政府が今後荏苒其處置を延引し居る如き場合は自分としても相當決意を以て之が解決を期する覺悟である旨を述べて諒解を求め、各軍事參議官からも陸相を鞭撻する旨の意見の開陳があり、種々重要意見の交換をなした

ブラジル國駐剳大使館一等書記官 內山岩太郎
任大使館參事官

本年度末公債發行殘額 四億近く發行

【東京國通】本年度末發行公債は一般、特別兩會計を合せ合計四億七千七百萬圓を殘して居るが自然增收その他に依り約一億圓は發行する必要がない事となつたので政府は三十日總額約三億七、八千萬圓の中一億圓を預金部引受け、他は凡て日銀引受けの下に發行する事となつた、條件は政府の金利政策不變更の建前に依り前回發行の四分利國庫債券と同樣利率年四分、發行價格九十八圓五十錢、期限二十六年六ケ月乃至二十七年となる模樣である

カナダ公使 重光次官訪問

【東京國通】駐日カナダ公使マーラー氏は廿六日重光外務次官を訪問し日加兩國貿易增進に就き協議したが、新公使來任により愈々片貿易整調交涉は新展開を見るものと期待されてゐる

滿洲國皇帝奉迎 陸軍關係諸儀
陸軍省より公表

【東京國通】四月六日御來訪遊ばされる滿洲國皇帝陛下奉迎に關する陸軍諸儀は陸軍省より公表されたが四月九日若草ゆる代々木練兵場に於て天皇陛下御臨御の下に擧行される事關係の特命近衛師團觀兵式には皇帝陛下には同日午前九時四十分秩父宮殿下と御同乘で代々木練兵場に成らせ雜て天皇陛下と御馬車に乘御滿洲國々歌吹奏裡に閱兵式を行はせられ次いで壯烈な分列式をみそなはせられ終つて御少憩の後再び秩父宮殿下と御同乘にて御歸還遊ばされる四月七日には午前十一時靖國神社に御參拜あらせられ、又四月十三日午前第一衛戍病院を御訪問遊ばされるが皇帝陛下には同午前十時三十分林陸相並に陸軍關係者の御出迎を受けさせられて御着、第一衛戍病院長等に賜謁遊ばされた後病院長より滿洲事變還送患者の情況を聽召され次いで戰傷者病室並に將校患者病室を御慰問遊ばされた後午前十一時三十分御歸還の御豫定である

政友役員內定 廿八日總會で指名

【東京國通】政友會では廿八日議員總會を開催、幹部の改選、新役員總裁指名が行はれるが左の如く內定してゐる
新總務は安藤正純、田邊七六(以上關東)堀切善兵衛、田子一民(東北)猪野毛利榮(北信)大口喜六(東海)森田政義(近畿)島田俊雄、若宮貞夫(中國四國)金光庸夫、葉梨新五郎(九州)新幹事長松野鶴平

大使館參事官(英國) 加藤外松
任特命全權公使被仰付カナダ國駐剳

大使館參事官(米國) 藤井啓之助
命英國在勤

大使館一等書記官(滿洲國) 吉澤淸次郎
任大使館參事官 命米國在勤

政民連絡員 連繫具體策協議せん

【東京國通】停頓中の政民連繫は國體に關する決議案、內閣審議會への附帶決議提出の際提携の實を擧げ連繫運動も捲りを戾すと觀られてゐるが兩黨連繫委員久原、山本(條)島田、富田、綱母木、櫻內の各氏は工業クラブに於て近く正式會見を行ひ連繫達成の具體策に就き協議する事となつた

外務辭令

【東京國通】廣田外相は德川家正氏のトルコ大使轉任に依り空席となつたカナダ公使の後任を詮衡中の處、今回駐英大使館參事官加藤外松氏を起用する事となりカナダ政府にアグレマンを求めてゐた處、承認されたので來る廿九日の定例閣議に右に伴ふ參事官の異動人事を附議決定の上左の如く正式に發令される事となつた

英獨伯林會談
友好的空氣の裡にをはる

【ベルリン廿六日發國通】英獨兩國首腦部會談は廿六日午后四時から續開、大使館に於ける午餐會を終へてサイモン外相はイーデン國璽尚書及びフイリツプス大使を帶同、ウイルヘルム街の總統官邸に乘込み、ヒトラー總統ノイラート外相並にリツペントロツプ氏を相手に最後的意見の交換を遂げた、會談は前後四時間に及び其の間兩國代表は再軍備宣言から安全保障の諸懸案に亘り相當突込んだ應酬を遂げ前後二日に亘る商議に最後的仕上げを加へた樣子である、午后八時過ぎ漸く散會歐洲政局の全般的處理の端緒を開くベルリン會商は、友好的雰圍氣の中に大團圓を告げた

內閣審議會に於て 米穀問題再檢討か
政府側補强工作に專念す

【東京國通】政府が幾多の重要法案を犧牲に供し山崎農相の面目を根底から蹂躙して迄も會期を延長しなかつた事に關し、早くも政局の不安を傳へられてゐるが**之は**政府が當然爲すべき努力をせずしてあつさり投出した事は永く政局擔當の意思なき事を表明したるものであるとの觀察から出發したものであつて政府自身は一の農林對策でも通過するとの見透がつけば勿論會期延長を奏請すべきであるが廿五日午後に於ける衆議院の情勢は審議未了に終つた法律案十一件中一件と雖も貴族院へ送附されるとの確信が得られなかつた、その結果會期不延長に決したものであるとの建前で飽くまで强氣に頰被り主義で押通す事を決意した、廿六日午後の閣議でも此點に關し意見の交換を行つたらしく茲に其進退を注目される山崎農相に對しては今回の會期不延長に依る重要法案の全滅は全く內閣全体の責任であつて、山崎農相一人の責任に歸すべきもので無い旨を明かにして山崎農相を慰撫し遲くも五月中旬迄に**設置**する見込みである國策審議機關たる內閣審議會、同調查局において米穀對策及び農村對策につき再檢討を行ふこととし組閣當初において取入れることに失敗した擧國一致制を取戾し、內閣の補强工作を整へ政局の安全を企圖してゐるやうであるが、政府側の期待してゐる樣に順序よく物事が運ぶものとは思はれず、而も天皇機關說の處置といふ當面の重大問題が前途に橫はつてゐるので今後の政局の動向は各方面から重視されてゐる

白國の滿國承認
外電の根據確實と觀測!

【東京國通】ベルギー政府が新に滿洲國承認の態度をほのめかすやの外電に對し當局は問題の重要性と正式承認の及ぼす國際影響の重大性のため端的なる態度の表明を避けてゐるがベルギー國が滿洲國の健全なる發達と其產業經濟情態の確實性を正當に認識し從來より滿洲國經濟視察團派遣其他の計畫を進めてゐる事は明白であり且ベルギー國有力者間に滿洲國正式承認の意向のある事も從來から傳へられてゐる處である

白首相議會で
滿ソ兩國卽時承認勸告か

【ブルユツセル二十六日發國通】金本位の危機打開の目的を以て新たに擧國一致內閣を組織した白首相バンジイランド氏は滿洲國政府承認の意向を持するものの如く消息通の報道によれば同首相は廿九日新內閣の施政方針發表に際し滿洲國政府並にソヴイエト聯邦の卽時承認を勸告するのではないかと傳へられる、同首相は曾てソ聯邦を訪問著書に依り同國の事情を紹介した事もあり、ソ佛兩國政府接近の實情に鑑みベルギー政府がソ聯邦を承認するのは既定の事實と觀られる、滿洲國政府承認に就ては聯盟總會の不承認決議が依然形式的効力を保持する現狀に於てベルギー政府が敢然イニシアチーブを執つて承認を斷行する事は可成り至難でないかと觀られるが新興滿洲國に對する投資の關係から最近同國には滿洲國承認論が益々有力となつて來て居る

內政部長 黃氏就任か

【南京國通】支那側消息によれば莫干山に靜養中の黃郛氏は最近對日關係も徐々に常道化への道程を辿りつゝあるので、卅一日頃一先づ南京に入り內政部長に正式就任する模樣である

南京市長 石氏辭職 後任は馬氏

【南京國通】廿六日の行政委員會議で、南京市長石瑛氏の辭職を許し後任に馬超俊氏を任命するに決した、由馬氏は孫科氏系統の人物である

阿部島田兩將軍着承

【承德國通】阿部大將、島田海軍中將の一行は本廿七日午前十一時卅分飛行機にて川岸本部隊長外日滿軍官民多數の盛大なる歡迎裡に飛行場着、直ちに承德ホテルに入つたが少憩の後川岸本部隊を始め各部隊を歷訪、終つて離宮內にて、川岸本部隊幹部と會食し明廿八日午前喇嘛寺、離宮等を參觀、午前十一時卅分發飛行機にて錦州に向ふ豫定だが又島田中將一行は廿八日午前自動車にて北平に向ふ筈である

正式調印を了へ
滿ソ兩國代表相次で歸國

【東京國通】北鐵讓渡交涉ソ聯側代表であつたカズロフスキー氏は協定調印を終へたので本國政府より歸國命令に接し、愈々廿七日午後三時東京驛發列車でグツネツオフ代表と共に西下モスクワに向つた尚滿洲國代表大橋次長も廿八日午前九時東京驛發列車にて新京に歸り協定公文其他關係公文を滿洲國政府に持歸る事となつた

販賣組織の改善と鹽價の統制計畫
國民負擔の輕減を目指す
財政部當局の準備

財政部は國民負擔の輕減を圖る爲曩に鹽稅及び官鹽價格の低減を斷行し、更に中間商人の暴利を取締る爲全國に鹽務職員緝私隊員を派遣したが、その結果康德元年度の平均鹽價は昨年中の鹽不作にも拘らず大同二年度に比し吉黑權運署管內に於て百斤當り一圓二角四分、鹽務署管內に於て四角乃至五角一分の低落を示し減稅と相俟つて著しく國民負擔を輕減した、尚財政部は次期の工作として鹽販賣組織の改善、鹽價の統制を行ふべく準備を進めてゐる

鹽價低落の實效擧る

財政部は獨政權時代に於ける鹽稅搾取主義を廢し一意王道鹽政の樹立に努めつゝあつたが單に鹽價格を低減し中間商人の利益增加に終り一般消費者に對し鹽價の低落せざるを虞れ、全國に亘り鹽務職員、緝私隊員を督勵し鹽棧鹽店の監督販賣價格の監視を行ひたる爲め康德元年度の平均鹽價は同年度中の鹽不作に依る原產地價格の騰貴にも拘らず之を大同二年度の平均鹽價に對比すれば吉黑權運署管內は百斤當一圓二角四分、鹽稅署管內は鹽棧御賣價格に於て四四、鹽店小賣價格に於て五角一分の低落を示し減稅に依る國民負擔輕減の實效を擧げてゐる、財政部は更に鹽價を低減するため販賣組織の改善、鹽價の統制等の對策を講ずる事になつた、尚大同二年度康德元年度鹽價比較左の如し(單位擔△印減)

	大同二年	康德元年	高低比較
吉黑權運署全鹽倉平均鹽價	一一、一〇	九、六六	△一、四四

第二回分國債は引續き發行する
歸任の星野司長大連で語る

【奉天國通】北鐵讓渡交涉並に買收資金調達の要務を帶びて上京中であつた星野財政部總務司長は無事その大任を果し廿七日午後四時半ヒカリで奉天通過新京に向つたが、車中左の如く語る
北鐵讓渡交涉が何等の支障なく圓滿に成立を見た事は實に喜ばしい、北鐵公債一億八千萬圓發行に就ては大藏省並に公債引受シンヂケート銀行團の終始變らぬ積極的援助により成立を見るに至り、その第一回發行の三千萬圓は非常な好人氣を呼んでシンヂケート銀行團の親受二千萬圓、證券業者引受一千萬圓と言ふ事に落着したがその狀況に應じて第二回分として三千萬圓を引續き發行する豫定である又日本側に對する第一回支拂分二千三百萬圓は調印と同時に支拂濟みで近く退職資金第一回四萬圓をソ聯側に手交する事とならうが何れも短期のもので豫て發行する長期のものに乘替へる方針である、大橋代表は本月二十八日東京發歸任する豫定になつてゐる

臨時閣議決定事項

廿七日午後一時臨時國務院會議開催せられ次の議案が可決された
一、專賣公署官制改正
一、專賣署官制
一、專賣工廠官制
一、專賣公署高等官々等俸給改正
一、稅關官制改正
一、稅關官等俸給改正の件

侍從武官處令改正

三月二十六日軍令第三號を以て康德元年軍令第二號侍從武官處令中左の通り改正、四月一日から實施することゝなつた
第二條 侍從武官處の定員中「侍從武官二人 陸軍中將又は少將」とあるを「侍從武官一人 陸軍中將又は少將」に改む

偶語

『赤帽』利權が突如として思ひがけない第三者の手に移つた動機については世間でも多大の疑念があり、この際ぜひともその眞相を突止めて置く必要がある▼殊に在鄉軍人などにして恰も軍の背景でもある如く見せかけ、利權を漁るものなどあるに至つては軍の威信にもかゝる重大問題で言語道斷の沙汰といはねばなるまい▼今度の赤帽問題について見るとその利權は井上豫備中佐の手に歸するものであるがその實宮地某なる者が介在して井上中佐はたゞ名ばかり、實際の仕事は宮地が一切引受けてやるとのことだ▼果して然らば井上中佐はたゞテラ錢ばかりを得るもので、誠に虫のよい利權漁りとでもいふべきだが、しかしこゝで井上氏のみを追窮すべきでない▼要は何ゆえに鐵道事務所ともあらうものが、かくも不可解極まる怪事實を敢てしたかといふにある、責任の歸するところはたゞ此の一點で、京鐵幹部の辯明を聽きたい▼直接責任者はむろん野村營業長に違ひあるまいが、巷間傳へられるところによると中山庶務長とても同じ穴のむじな、全然相談に預らないなどとゝはどう見ても考へられないといはれてゐる▼体聯幹事たる中山氏個人的立場には同情はするがこの際その態度だけは鮮明にして置く必要があることを敢て体聯幹部に代つてお願ひして置く

人事往來

▲中里電氣課(長遞信局)二十七日午前十時四十分發飛行機で大連へ
▲立松航空官(同)同上
▲馭監督課長(遞信局)二十七日午後五時三十分齎ヤマトホテル投宿
▲宮本登氏(吉林居留民會長)二十六日午後來京國都ホテル投宿
▲奧平廣敏氏(ハルビン交易所常務理事)同
▲石貫一氏(官吏)同
▲藤井保範氏(同)同
▲有井市治氏(官吏)三月二十七日午後三時哈爾賓より
▲熊谷貫一氏(同和工業會社取締役)三月二十七日午前八時奉天より
▲吉田繁氏三月二十七日午後三時哈爾賓より

社説　美しき情景 協和會「全聯」の三日間

社會階層の區別と民族の分岐の違ひを超えて和やかな、しかも熱意にあふれた愉しい風景の展開を、われらは滿洲國協和會のいはゆる「全聯」三日間の會合において見ることが出來たのであつた。筆者は今次の會合の始めから終りまでこれを傍聽することを得たのであつたが、その會合のあらゆる瞬間を通しておそらくこれに對比し得る如き集會は、滿洲國においても、又日本においても存してゐないであらうといふ感想を持たせられたのであつた。そこには農民あり、商人あり、官吏あり、辯護士あり、軍人あり、車夫組合の會長あり、これら滿洲社會の中堅分子として現地に身を以つて働きつゝある、代表の諸君が「私は某々地方の代表であります」と前提して語り出すその語氣に溢るゝものは何であつたか、それは實に三千萬民衆の民意の表白以外の何ものでもなかつた。自分こそ民意の代辯者として、この如き要望を持つのだと、さう信じて語る言葉の一つ一つに現實の働らきの場所に經驗し辛苦した、その結晶であるものが凝結されてゐたのであるまことに、この故にこそ三日間、三十件の附議は眞に深き意味を持つことを得たし、人々をしてこれに傾聽せしめ得まことに心からの贊同と助力とを克ち得ることが出來たのであつた。

◇

むかしギリシヤにおいては、路傍に大衆が集つて、たとへば或る犯罪者の處置を決するのについて貝殼を投げてこれを定めたといふ。いはゆる貝殼追放と言はれるものであるが、眞に大衆の幸福と悅樂とを成就するためにはかかるデモクラテイツクな民意伸長の方法のみが之をよく決定し得たものである。支那滿洲に於けるいはゆる王道、その理想とするところの、政治の實現は實にこのやうな民意の昇華が天意として大衆のうへに君臨する所の構築に外ならない滿洲國協和會が、かかる、目標のために負ふ使命は、他に比類を見出し得ぬところの唯一獨自のものである。この如き、愉しき官民一致の、農民の代表と、一國の國務大臣とが、膝をまじへての協力共働が世界の何處に今日見出し得やう往昔のユートピア、日出づれば耕し、作物豐かにみのれば腹に鼓して、相歌ふ、そのやり方が現に滿洲國協和會の集會においては見事に表現されてゐるのである。彼ら代表諸君は、利のために働き金のために叫ぶ如きいはゆる代議士稼業者では決して無い。眞に自己の馬國者の爲に、その代表者となつて平安と樂業とを求めんとする、社會運動の闘士たのである「本代表は…」と語り出すとき眞に彼はその負ふ使命に忠實しかも家族的には滿洲國における政治、經濟、社會、文化の諸般の建設に參劃しつゝあるものなのだ。

◇

筆者の耳になほあざやかな印象を記憶せしめてゐる一事を特に言ひたい。彼らの信念において「滿洲國はわれら三千萬民衆がその總意によつて創建したものだ」といふ確信は確固不動のものがあるのである。この信念をこそ、われらは滿洲國の將來を、滿洲國の明日を思ふときに、實に心强く感ずるのである、この信念あつてこそ、滿洲國の歩みは決してそのコースを踏み誤りはせぬと、信ずるのである。

信念なき國民は滅ぶといふ。滿洲國國民大衆は、はつきりと、しつかりとこの信念を持つてゐる、そのことをわれらは今次の會議に示された言說に聽くことを得た。この事實だけを以つて、われらは滿洲國の發展に最高の信頼を寄せることが出來る。滿洲國の明日のために、滿腔の敬意を捧げることが出來る、美はしき情景よ、それが意義深き示現であつたことに、われらは大きなマークをつけるのである。協和會の健全な成長をその活動間然する所なき結實を望むや切である。

滿洲農業の根幹問題 小農から大農へ (二) 主に大豆に就いて

滿洲大豆が持つ弱點を是正し補足するための第一の方法は栽培及び加工技術上の改良、それと取引過程の合理化といふことである。前者に關しては滿鐵の公主嶺農事試驗場及び中央試驗所において夫々相當の成績をあげてゐるがその技術は未だ充分に實施されるには至つてゐない、今日世界の油坊工業は物理的操作(壓搾式)から化學的操作(抽出式)に移つて居るに拘らず、滿洲の油坊は殆んど全部が效率の低い水壓式に甘んじてゐる、元來滿洲の油坊は固定資本を要すること少く作業も簡單であるといふ特徴があるが出油率が少いから工場採算が不利であり而もその製品豆粕は水分が多く、品質も良好でなく腐敗の惧れもあり肥料用以外には種々の缺陷がある、だから歐洲において多量に需要される飼料用豆粕、又日本及び支那において今後需要を增すであらう飼料、醬油及び味噌用の豆粕の如きにはその價では殆んど使用不可能である、從つて滿洲の油坊をして歐洲の油坊に比し優越た地位を得せしめるには、今後これを新式油坊に改めその出油能率を高め、その製品をいかなる用途にも又いかなる地方にも適せしめるやうにせねばならない、だがかかる方策も農業經營方法の機械化をも行はなくては充分でない、一つの意見として滿洲では勞銀が安いトラクターを操縦する技術と材料との價格が高い、滿洲の農企業者は大規模經營の經驗と資本に乏しい等を理由として之に反對するものがあるだがよく考ふれば、かゝる根據は決して固定的なものではない、宜しく積極的、建設的な方策をめぐらすべきであるすなはち滿洲人又は日本人が會社又は個人の企業として、政府當局の技術的及び物質的援助の下に交通便利且つ地味肥沃な相當面積の土地を經營する、政府は治安維持の機關を設けるばかりでなく、一定面積に對して一箇の簡易指導所を設け農業技手及びトラクター運轉手とゝもに幾台かのトラクターを常備する、又政府の銀行は農企業者のコオペラテイブと連絡して金融の便を計り、地方の小組合は幾つかの階段を經て中央の大組合に連絡し、この連絡網が地方農民の生産活動における一切の需要及び供給に應ずる、かゝる諸組織が整へられ農民のこれを利用する熟練が或る程度に進んだ曉には、大農經營は節約、勤勉且ッ順應性に富んだ東洋人の生活傳統と結び付いて決して白人に劣らぬ業績を擧げ得るであらう (S、Y)

米國の取るべき極東政策 (上)
ワシントン、ポスト社説

日本が一九二二年の華府海軍條約を廢棄するといふ正式通告は未だ各條約國に到達しないが、日本が十二年前に締結した海軍條約を廢紙となさうとしてゐる決意はもはや明確なものとなつてゐる、だからこの種の通告が極東の舞台に海陸軍事及び外交に演ずる所の役割に對して再び根本的な考慮を拂ふことが必要とされるのである

現在不穩な情勢の下に在る米國の極東政策に對しては宜しく現實の經過を辿つて客觀的研究を加へねばならぬ、いかなる成見をも有すべきではなく且つ各種の技術的方面にも注意せねばならぬ、たとへばただ海軍軍縮の比率のみを論じて他を省りみない如きは許されぬ、蓋し軍縮問題の最後的な分析も國家政策の一部分たるに他ならぬからである、故に吾人は吾人が太平洋に有すべき用意を日本が所有する艦艇の噸數のみに依つて決することは出來ぬ、ぜひとも日本とわが國とが太平洋上に持つ所の意圖を以つて標準とせねばならぬ、この風雲急なる時に當つて萬事にその逆行、崩落が無いやうにせねばならぬのである

吾が國の極東政策は當然に以下の各種の外交政策の中からこれを選擇せねばならぬ

一、單獨行動
二、英國との聯合
三、國際聯盟と合作し國際的團結に到達する

米國今日の地位は完全に自由である、而して唯一の問題は何れの政策を選び弊を避け有利に、みじめな立場に立ち到らぬやうにすることである

今試みに單獨行動の政策について論じやう、極東問題が我らに緊密な關係を持つのは支那がその中心であるからに他ならぬ、吾人の支那に對する傳統的政策はいはゆる門戸開放によつて吾人の支那における商業並びに投資上の平等なる待遇を享有するに在る、惟ふに二十余年來支那の政情は混亂を續けその一切が不穩なる狀態を呈してゐる、故に日本は機會を摑んで滿洲國を建設したのである、而して今日の形勢を以てすれば支那をも同時にその掌握の中に置かうとしてゐる

日支の間には切實な利害關係が存してゐる、支那がすでに混亂不穩の狀態を呈して居るのに對して日本はこれを輕視することは出來ぬ、日本は支那の不穩狀態によつてその通商及び軍事上の利益に影響を受くることを欲しない、更に支那が他人によつて蠶食されることを欲しない、だから日本はすでに決心を固め他の妨害を顧みず突進せんとしてゐるのである、日本が極東に勢力を持つ國家と決裂しても華府海軍條約の廢棄を宣告する所以は日本もその在支權利を掌握せんとするものであることが知られる

吾人はかゝる情勢に對していかなる政策を取るべきであるか?吾人は單獨行動のみに依つて舊來の對支傳統政策を維持し得るか?よしんば實力は賴むに足るとしても、吾人は甘んじてこの危險に赴くことを願つてゐるか否か?狹義的に立論して門戸開放主義のために日本と角逐を起す如きはその價値なきものである、よし吾人が幸ひに日本に打ち勝つとしても勢ひ吾人は支那を援助することによつて其他の列强の再來を防がねばならぬことになり、それでは日本の踏んだ道を辿ることにならう (つゞく)

將に擧國緊張の秋なり (二)
關東軍第一課長原田大佐

若し露國の軍隊が鴨綠江を渡り朝鮮に殺到し尙我が海軍が不幸にして戰ひに敗れるといふやうなことがあつたならば

露國 の軍隊は直に海を越えて九州本州に迫ることは勿論でありますのでその時には自分の妻を把つて一兵卒となり自分ら銃を執つて戰線近くにおいて兵糧を運び以て第一線の兵を慟つて九州の一角において死して再び歸らず、といふ決意を示されたといふことを聞いてをります又當時の兒玉大將は內務大臣でありましたが然るにも拘らず自ら進んで參謀次長の職に就きまして策戰の樞機に參謀せらるゝことになつたといふ如きは君國を念ふ外何等他に念なきことを偲ばしむるものであります、又當時の議會における機微を研究いたしまするのに戰爭前明治三十六年十二月十六日の第十九帝國議會におきましては戰爭前のことでありますので勅語奉答前に次のやうなことを申上げて政府に反對をせんとしたといふことが殘つてをります、即ち外交は機宜を失し臣等をして憂慮措く能はざらしむ仰ぎ願くば聖鑑を垂れ賜はらんことをといふやうなことを言つて、政府に反對をせんとしたことがあつたといふことでありますが、政府におかれましては「斯の如きは以ての外なり直に議會を解散すべし」と解散されたのであります、その結果總選擧が行はれまして、次の第二十議會におきましてはいよいよ戰爭が始つてをりますので戰爭に要しまする軍事費といふものは各政黨とも一人の異論を唱へる者なく

全會 一致をもつて豫算が通過いたしてをります、その豫算通過に當りましての議決事項といたしましては「細かいことは何等修正を要しない要るだけのものを出して了へ」といふやうな議決であります、之をもつても國民が如何に眞劍であつたかといふことを推察することが出來ると思ひます、又外交方面の狀況を見ますのに當時の外務大臣小村さんは貴衆兩院におきまして聲淚共に下る外交演說をいたしまして壇上において嚴肅なる態度で「何故に日露交涉が斯うなつて來たか、何故に吾々は起つて戰さをしなければならんか」といふことを烈々たる言辭をもつて演說をされた、その時には、滿場寂として聲なしといふことが歷史に殘つてをります、又參謀本部におかれましては、參謀次長の兒玉大將が「どう考へても戰さは四分六の勝目がない、五分五分だ五分々々の戰さといふものはなかなかやれないものであります、それを五分五分の戰さを如何にして我に六分の勝目を與へんかといふことについて心血を濺かれたといふことが日露戰史に昭々として殘つてをるところであります、倘兒玉大將は精緻の軍を戰地に送られまして後は日夜策戰の帷幄に苦心されるのみならず毎夜遙かに東天を拜して戰勝を祈つたといふことも聽いてをります、又當時の財政方面のことを見ますのに

恰度 當時の日本の豫算は約二億位のものでありまして、滿洲國と相似たやうなものがありますその二億ばかりの豫算の時に內債を起さなければ軍費が足りない幾分の內債を起すべきやといふのが問題になり或は三千萬といひ或は五千萬といひ或は一億といふ議論がありましたが蓋を開けて募集をして見ると忽ちにして一億五千萬圓の內債の應募者があつたとこれは國民が如何に當時の狀況に認識を深めてをつてさうして擧國一致の精神を現はしたかといふことを證明し得ると思ひますし、又戰況が進むに從つて不幸にして戰爭の時には當時の情勢から考へましても決して兵器の餘裕といふものはありません、それがため會戰に次ぐに會戰をもつてすれば忽ち不足するものは彈藥であります、乃で此の兵器彈藥の製造材料といふものが缺乏したならば如何なる狀態になるかは瞭かでありますので、當時最も必要でありますところの鐵鋼といふものに對して三井とか三菱とかいふ主として支那方面の貿易をやつてをつたところの大きなる會社が犧牲的精神をもつてこれ等の材料をドンドン損をしてでも軍用に供したといふことも歷史上に殘つてをります、又戰爭に活動してをるところの將卒の軍服は年と共に磨損しまして、これを補充しなければならん、又

兵力 がどんどん增加して行くに從つて被服の材料を必要とする、斯ういふ時に當りまして國民が擧つて襟卷を投し洋服を撤つてさうしてそれ等の被服の材料に提供したため陸軍の倉庫はさういふ品物で一杯に達したといふことも記錄されてをります、それで一般の國民が戰爭の感念に燃えて忠愛の至誠から現はれましたところの數え切れない美談につきましては既に無上いろいろなものによつて發表せられてをりますので一々此處に申上げませんが、乃木大將が最愛の二兒を旅順に喪つたその心持は苟くも父たる者の心であると思ひます、又彼の一太郎ヤーイに現はれましたる所のあの母の心は當時の我が日本帝國の全部の母の心と信じます如斯國民が上下一致最大の犧牲心をもつて戰爭といふものに對して働きましたる結果先程も主催者のお話の通りに僅かに東洋の一端に位する蕞爾たる島國か、當時のあの大陸軍國に對して五分五分の戰さ所か連戰連勝士氣つかず三十年前の三月十五日後の奉天の大會戰で大山滿洲軍總司令官は部下を率ゐて奉天城に入城しさうして露國に對して最後の止めを刺すといふやうな結果を得たのであると思ひます

讀者の聲
◆中傷はとらず◆ 氏名住所明記の事

バス停留所問題 反省を求む
永沼淸宏

目覺ましき國都新京の發展振りは彼我共に同慶に堪えない殊に交通機關の發達は吾等一介のサラリーマンに取つては重大なるものである、電業公司が相當の犧牲を拂つて交通網の完璧を期して居る事は實に感謝に堪えない

然しながら玆に實に不愉快千萬な事を毎日見聞するのは敢て筆者ばかりではないと思ふそれは停留所以外の所に於て電業公司從事員の乘車である吾等サラリーマンは毎日八時四十五分に停留所より乘車するのであつて停留所以外に於ては如何に乘車したくとも運轉手君は停車して吳れないそれか從業員であるかぎり何時いかなる場所に於ても必ず乘車出來る營業不合理も甚しき事と思ふ

所謂一箇の營利會社である以上乘客本位は是非必ずや社是であらねばならぬ

時間を要しないと謂ふかも知れない然し吾等の謂はんとする事は時間の問題ばかりではない停留所以外の場所に於て從事員であるが故に自由に乘降し得るものとしたら我等にも其自由を與へて貰ひたいと思ふ

敢て業務員の一考否反省を求めて止まぬ

興安北省內のオロチョン族とは

オロチョン族とは、興安嶺の山林に蟠居してゐる原始民族であつて、狩獵を以つて唯一の業とし殆んど原始的生活を營んでゐるもので、興安省中東省北省並に黑龍江省の一部に住んでゐる

興安北省帶では主として海拉爾河上流興安嶺西側地に三ケ所に分れ約六百人、未開人特有の排外的習癖を有し一面又民族內の團結固く狩獵に依て糊口しその衣食住の如きも殆んど之に依つて充足し野蠻な原始的生活をなしてゐる、これの統制については省公署の管轄に屬してゐるが一昨年同種族內の信望を一身に擔ひ絕對的勢力を有してゐた族長シヨンゴー死亡しその後は首領決定せず目下その弟ションミンが代理してゐるが統制は充分でない

その生活は狩獵によつて糊口を充たし森林地帶の採水に便なる地を轉々として移動し數戶固まつて生活し一般呼倫貝爾における蒙古人の如く蒙古包を用ひず上流階級の家庭では丸太を交組して獸皮又は白樺の皮で覆われた小屋に住み下層階級に屬するものは獸皮にくるまつたまゝ野獸の如く木の下等に起居してゐる

主食は狩獵で得た獸肉で若干麥粉菜等を用ひてゐる、衣服はすべて麅子の皮で調製し自給自足である、狩獵が主業であるため之に要する馬及び銃は必要缺くべからざるもので就中馬は最も貴重な資産で馬の多寡に依つて貧富が決される一戶平均馬六頭を有してゐる、他に若干の牛を有するが羊其他の家畜は全く無い

銃器は何れも古代のものであつて、各種長銃を用ひてゐるがその射擊術の巧妙なことは驚くべきものがある、從來彈藥は軍隊方面から供給を受けてゐたのであるが現在は取締り嚴重となり缺乏を來してゐることである、その風習において注意すべきは禮儀が大いに尊ばれてゐることである、年少者は必ず長者に對して敬禮を盡す、妻は夫の他出の際には必ず馬裝を整へ夫の前にこれを牽き門前で見送り、歸宅の際は又必ず夫を出迎へる、結婚は普通男子十五歲で行はれ妻は必ず夫より四五歲年長である、未婚者は成人と看做されず結婚によつて始めて一人前の大人となり父兄から生活の資源たる銃を支給されるのである

地方長官會議 五月上旬召集

【東京國通】政府では明年度豫算や議會通過の各種法案の圓滑運用を期すると共に政府の政策を徹底さすため、五月上旬地方長官會議を召集する

南満

大連中央放送局で放送改善座談會

プロ編成其他諸般設備に定型を破つて見せる

【大連支局發】全満ラジオ聽取者の大半を管内に有する大連中央放送局では新京百キロ放送の開始以來頓に聽取者の増加を來して居るが更に之が普及發達を期し、覚局長提案の下にプログラムの編成及び放送に關する諸般の改善等に就き各方面に亘る權威者の意見を徴し參考に供するため、近く放送改善座談會を催す由であるが無策極まる放送プロの編輯振にアキ〳〵して居るラジオファンは、此の座談會の結果に非常な期待をかけて居る

海邊警察隊警備艦入港

【安東國通】海邊警察隊警備艦「海鳳」「海榮」の二隻は廿五日正午大東溝分隊前に入港、直ちに汽艇にて乗組員は安東に溯航上陸した、本年の同隊警備艦の入港は同艦がはじめてゞある
尚同艦は一兩日碇泊の上附近警備に出動する筈である

白警察廳長 日本警察制度視察に

【安東國通】民政部が四月一日から約一ヶ月の豫定を以て日本に派遣する各地方警察長官の日本警察制度視察團に安東よりは安東警察廳長白銘鎭氏が參加する事となつた、氏は大の親日家として知られる人、令弟は帝大出身で滿洲炭礦會社理事を務め、令息令孃令甥、令姪八名は現在日本留學中である、同氏は出發に先立ち左の如く語つた
貴國訪問は永年の宿望であつたが、今回それが達せらるる事になつた事は何より喜ばしい事で、進歩せる貴國警察制度を充分視察すると共に日満警察官の親善にも微力を盡したいと思ひます東京には八名もの息子等が留學してゐるのでそれ等に會ふのも一つの樂しみです、一旦新京に集合せねばならぬので廿八日頃當地を立つことになるでせう

東満

安東省各縣に金融合作社設置計畫

【安東國通】安東省下各縣は現在農民への金融機關なく僅かに鳳城縣に金融合作社があるのみであるが、安東省財務科長はこれが救濟のため各縣に合作社を設置すべく準備を進めてゐるが、近く具体案を作成中央財政部當局にこれが設立を申請する筈である

故吉留辦事處長 遺骸奉天驛歸着

【奉天國通】北鐵接收後最初の殉職者として痛く其の死を惜しまれてゐる博克圖辦事處長吉留英熊氏の遺骸は廿六日午前十時五十分まさ子未亡人に付添はれ奉天驛に到着驛頭に於て出迎者一同の燒香あつた後自宅に安置されたが驛頭には總局滿鐵關係者をはじめ一般市民多數の出迎へがあり同氏の葬儀は廿七日午後四時より葬祭場に於て執行された

省制改革後最初の警務會議開催

地方警務行政の刷新を期す

【吉林國通】吉林省公署警務廳に於ては管下一旗十七縣の警務行政刷新のため各警務指導官を招集し、廿六七の兩日に亘り吉林倶樂部に於て警務會議を開いた、省政改革後最初の會議であり、各地方の實情に則した警務行政の根本方策を究めるものとしてその收穫に多大の期待をかけられてゐる

舒蘭縣殉職八勇士 第二教導隊で隊葬執行

【吉林國通】第二教導隊に於ては去る十九日舒蘭縣六道溝に於て宋德林匪の夜襲を受け孤軍奮闘矢彈盡きて壯烈な戰死を遂げた假屋上尉及び王少校外八勇士の爲め廿六日午後一時より隊本部に於て嚴肅なる隊葬を執行した

北満

日、滿部隊の各地討匪情況

大川部隊

【ハルビン支局發】東部綏帽兒山東南方約四里の東門子嶺に於て廿三日夜横山部隊麾下の大川部隊は共產匪約四百名と遭遇、廿四日午前七時三十分、戰鬪を開始し徹底的打擊をあたへたが此の戰鬪で敵は屍体四十を遺棄して敗走した、日本軍の損害は二等兵中野隆は壯烈なる戰死をとげ二等兵青木武男は重傷、一等兵鈴木佐男は輕傷を蒙つた、目下友軍は共產匪せん滅のため包圍攻擊中

横山部隊

【一〇圖發表】濱江地區治安確保のため各地に轉戰中の横山部隊に屬する光武部隊は、廿四日午前九時、賓縣楊家燒鍋南方二里半の地點で、北來、呂紹介の率ゆる匪賊三百名と遭遇、交戰二時間にして之に徹底的打擊をあたへた、右戰鬪により敵の遺棄屍体二十七、負傷者多數の見込である友軍の損害は一等兵鈴木啓作、二等兵石川清が負傷した
尚は北來匪は、去る六日、賓縣街道を哈市にむけ運行中の國際運輸トラック七台を襲擊し日本人奥村改三郎、露人運轉手九名を拉致したが、光武部隊の努力により露人三名の人質を救助し、トラック三台をとり還した、之により人質全部は無事救出された

靖安軍

滿洲國靖安軍は日本軍と協力、最近頻發する匪賊討伐のため活動中であるが靖安軍麾下の李部隊は廿四日東寧東南約十三里の二道溝に於て匪首不明四百の匪團と遭遇し之を東北方に敗走せしめた
〇靖安軍美崎部隊の報告によれば、奥田營長の指揮する第二中隊及び第二機關銃隊は廿一日午後七時、沙拉站西方約二十四粁の地點で強力なる匪團と遭遇、之を擊退した敵は屍体五を遺棄して潰走した

岩越中將着任挨拶

（ハルビン支局發）新任駐哈師團長岩越恒一中將は廿六日午後二時五十分着の京濱線列車で着任したが、驛貴賓室に記者團を引見、左の如く挨拶を述べた
本職は今回圖らずも外に大任を拜し武勳名譽共に高き若山中將閣下の後を繼ぎ北滿警備の重任に就く事になりました、惟ふに北滿の地は滿洲國の國防外交及び經濟上極めて重要なる位置を占め殊に從來滿洲國統治及び警備上の一大障碍たりし北滿鐵路も過般日出度く滿洲國に接收せられ今後は松花江の水運並に新設諸鐵道と共に凡て一元的統制の下に北滿の大動脈たるの機能を發揮し得る事となり北滿の前途は一段と光明に輝く事になりました、然しながら多面北滿地方は地勢其他の關係上治安の恢復等は遺憾乍ら南滿地方より遲れ今尚地方には跳梁せる匪賊の蠢動熄まず且又第三國とも直接境を接する實情にあるを想ふ時私の任務の一層重且大なることを痛感せざるを得ないのであります、何卒各機關並に各位の援助と協力とに依り此の重責を果し以て日滿兩國の發展に寄與し得るに至る事を切望する次第であります
因に岩越中將は工兵科出身で第〇師團長に親任されるまでは工兵監の職にあつた人である、北鐵接收も一段落の形であるが、今後濱江地區の治安維持は層一層緊要視されてゐる今日、濱江地區防衛の重責に任ずる岩越中將の來任は各方面から多大の期待を持たれてゐる

若山中將廿九日離哈

元駐哈師團長若山中將は約一ヶ年間、濱江地區治安維持の重責に任じ各方面からその榮轉を惜しまれてゐるが、新任師團長の着任をまつて、事務の引繼をなし、廿九日午前九時二十五分の列車で離哈する豫定である若山中將は既報の如く參謀本部附に榮轉する

濱洲、濱綏兩線に指導員派遣

【ハルビン支局發】北鐵接收も平穩圓滿裡に完了したが、ハルビン鐵路局は濱洲、濱綏兩線に指導員を派遣し、現業の實際的指導をなすこととなり廿五日濱洲線に秋田運轉課長を濱綏線に西川工務處長を派遣した
右指導列車は濱洲線午前九時濱綏は午前八時三十分出發したが軍部關係者、警務統制委員會關係者も同車してゐる、秋田氏は廿九日、西川氏は卅日に歸哈する豫定である

黑河に滿鐵病院新設 十一月落成の見込

【黑河國通】黑河市に於ては滿鐵より、十萬圓の寄附を仰ぎ滿洲國帝政實施記念とし滿鐵慈惠病院を建設する事となり過般來敷地の選定中であつたが愈々黑河市南門通に完備せる病院新設に決定、四月の解氷期を期し着工、十一月迄に落成の筈である

哈市民會評議員決定

【ハルビン支局發】二十四日行はれた日本居留民會評議員當選者九名の氏名次の如し
石橋茂、野口秀雄、森田松三郎、山野邊正春、手塚梅吉、寺澤佳吉、高川誠一、相見幸八、齋藤由衞高

黎明の間島

各縣政事情（五）

二、農業 琿春縣の農業は森林地帶が多い事と治安の確保せざる事によつて延吉縣等とは比較にならぬが尙相當の作付收穫を擧げてゐる九年度收穫豫想は左の如くである

作物名	作付面積	收穫量
大豆	二〇、[illegible]晌	[illegible]石
小豆	一、一二九	一、〇四一
其他豆類	八二七	一、六一八
粟	七、四九四	[illegible]
高粱	五五一	二、九三六
玉蜀黍	二、〇一八	二、〇二九
小麥	六九	一六六
大麥	一、二四一	四、一四〇
蕎麥	六六	一五八
黍	八〇一	二、四四〇
稷	一〇、二五三	三八、二七六
稗	一八一	六〇五
稻	二、三三一	七、四〇五
陸稻	一一三	二九三
計	四七、三九一	一四〇、〇四六
馬鈴薯	二、三三八	七八、六〇〇
合計	四九、七二九	二一八、六四六

三、林業 琿春縣の木材は由來琿春材として間島材とは別に一呼稱を有つて居る、森林地帶は琿春河、密江の流域に亘つて全縣面積の約六割を占めること前述の如くであるが昭和三年の滿鐵調査によると森林推定面積三萬五千七百七十五町、蓄材推定量（針闊合計）千八百九十三萬八千石とされて居る、用材として伐出せられるものに紅松、白楊、樺等があり今後交通の發達、治安の確保に伴つてこの方面への資本家の進出も豫想され前途は期待されて居る

四、鑛業 琿春縣に於て今後大いに期待される天然資源に砂金がある、砂金は土門子方面の老頭溝（琿春東方一里）が代表的な金鑛地區であるが琿春河上流地域一帶にも干溝子、三道溝、四道溝、五道溝、六道溝、東興鎭等の砂金溝があり一帶に砂金層をなして居る、現在この方面の砂金採取場の景氣は實に素晴らしいもでよくとれる日には鑛夫一人で十匁以上の砂金を採取すると言はれ、鑛夫連中も從つてえらい鼻息で粟飯等は見向きもせず滿洲國桝で一石に付き百圓といふ口木が羽が生えた様に賣れると言ふとである、琿春、土門子間の道路は鐵道局の手で大修繕を加へられたがこの方面の交通の整備さへ滿足に行けば富源の開發は見るべきものが多いであらう、其の他琿春縣には門呼子、二道溝、露鐵方面に炭礦がある

五、琿春縣城の概要 琿春は朝鮮及ソ領に接壤しがる要衝であつて古來吉林省に於ける邊境の要害地として重要視せられ、康熙五十三年協理衙門を置いた時既に都邑を形成し光緒七年この地に城を築き同時に協理を廢して副都統を置き翌同八年琿春府として地方統治に當らしめたが、宣統元年に琿春廳と改稱して東南路道廳の設置を見、次いで民國二年縣治に改むると同時に道廳は延吉に移されたのであつた、市街には長方形の土城あり、東西百二十間、南北百五十間、東、西、北の三樓門の東西に二條の大街路を有し西門通りは商家が軒を列べ東門通りには諸官衙が多い、因みに昭和九年六月末現在に於ける同地の人口は次の如くである

國籍別	戸數	人口
內地人	一三九	[illegible]
朝鮮人	八〇六	[illegible]
滿洲國人	一、六三三	[illegible]
外國人	一	三
合計	[illegible]	[illegible]

△汪清縣

汪清縣は東に琿春縣、西に延吉縣と隣接し縣内を嘎呀河が北から南に縱斷し大綏芬河に源を發して北走してゐる、山岳重疊、森林地帶多く從來兵匪共匪の蟠居地であつた爲人口も從來の間島四縣中の最下位にある、因みに昨年末現在の戸數人口は次の如くである

國籍別	戸數	人口
滿洲國人	[illegible]	[illegible]
日本人	一三	[illegible]
朝鮮人	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]

產業は住民の七九%が農民であるから農を大宗とするが、地勢の關係から作付、收穫共に從來間島四縣中最下位にある、併し林業富源に於ては間島随一であり、且鑛業方面に於ても鐵、砂金、銀等があつて此方面も亦今後の開發に期待する所が多いのである

美人と醜女とは犯罪と仲善し！

陰にきつと男がゐる

東京市の某刑務所に收容中の女囚二百八十三名に就いて、犯罪の動機、家庭の情況、生活程度、年齢、犯行の時期、兇器その他に亙つて調査、研究してみますと、女性の犯罪と容貌の美醜の間には、或る關係が立派に存在することが明かになりました

美しい醜い―といふことには絶對の條件がなく、各人の好み、性質に依つて違ふので、其の相違を出來るだけ少くするために冷靜で年老いた女看守と、若い溫情に富んだ女看守の二人を採點者に加へて見ました、美の標準は下を世間でいふ十人並として、美（絶世の美人とも云ふべきもの）上（非常に美しいもの）中（十人並以上のもの）下（十人並）醜の五つに分けて記入しますと

結果の數字

△美一△上三四△中一二三△下九九△醜二七

で、所謂十人並以上美しいものの百五十七名で、十人並以下のもの百二十六名に較べると遙かに多い數字を示してゐます

殺人と放火

犯罪別にします

△窃盗一一一人△殺人六四人△放火三八人

殺人と放火は男に比べて非常に多くなつており、又美人側は殺人二七、放火一七であるのに、不美人は殺人三七放火三一でいづれも多くなつてゐます

二つの誘惑

美人は美人であるがために誘惑が多いことは明かですが、殊に犯罪者は家庭の情況のよくないものが大部分ですから裕福でなく、而も美人であることは女性の行路には危險率が多いことになり、又醜いものは同じ誘惑でも、結婚の破綻愛人の裏切り、女中奉公の辱しめ等、弄れることからのヤケが主なる原因であるやうです、男の犯罪の裏には女がゐるなどといつてゐるやうですが、女の犯罪には一つとして例外なく男があり、男への憎惡が深く根を下してゐます

犯罪と年齢

年齢から見ますと、精神の動揺が甚しい青春期の廿五歳未滿と月經閉止期で而も子女の養育に一段落ついた四五十歳が最も多く、子供を育てる盛りの卅五六歳が最も犯罪者の少い事は女性にとつて子供が如何に大切であるかをよく物語つてゐます

新生の榮光

＝情報處監輯＝

曩に本紙學藝欄に紹介した如く躍進途上にある新生滿洲國の横顏とその足跡の斷片的記錄をカッティングしたもので滿鐵弘報係の撮影になる秀れた記錄映畫である近く本社の手により市內各常設館に一齊封切される筈である（寫眞はその一場面）

主婦メモ

アルミニウムの磨き方を申しませう　磨き砂は傷がつきますから、石鹸と米糠で磨きます、するといつも新しい時のやうに光澤が保てます

又鍋の釜底を大抵黒く塗つてありますが、その部分は成るべくたわしをあてぬやうにいたします、布巾などで輕くこするに止め、磨き粉などもつけないやうにせねばなりません、この黒くしてあるのは熱の吸收をよくするためで、火力が經濟なのですが、これがピカピカに白く磨いておとしますと、熱を多く要し、不經濟になります

暖かくなると春は土いぢり

道具はこんなのを

鍬＝　どうしても要ります、土を起したがやす、園藝の基本仕事です、形は大小さまざまありますが手頃のを買はないと重くて使へません、安いものは簡單に柄に鍬の刄がさしこんであてすぐ柄がぬけたり、ぐらぐらして使ひにくくなりますから柄がさしこんである所のしつかり止めてあるのを見て買ふとよろしい

鎌＝　草かりに無くてはならぬもの、菜園をなさる方は是非そろへておいてほしい、之も大形なものより中形か小形の方が素人に使ひよい事を知つておきませう、使用後は水で洗つて泥をおとしておくことが大切であります

シャベル＝　深い穴を掘つたり球根を深く植ゑこんだり又は掘り出したり、植木の移植等鍬で出來ない仕事をします、シャベルの使ひ方は慣れないうちは無駄な力を使ひますがこの時に無理をして柄を折つたりする人があります、力を入れる重心を柄の下部におく事が呼吸ものでせう

こて―　左官屋が壁に塗るこての手の曲つてゐないもの、小さい鉢ものの植ゑかへや穴ほり等シャベルと鍬の小さいもの用で、草花を作るにはぜひ入用のもの

如露―　有り合せでよいが、なるべく口の長いものが比較的便利です

ふるひ―　土、肥料や又は種子をふるふのに入ります、金網張りのもの

噴霧器―　飛行機のやうな形をした噴霧器、一圓くらゐしますが害虫驅除に役立ちます　この他肥料潤、バケツ、除草器等そろへればいろいろありますがあとは有り合せの品で間に合はせておきませう

一氣に止らぬしやくり

その原因と手當法

何かの拍子にしやくりが出はじめるとなかなかとまらない、一息に水をのんだりしてみますがすぐにはとまりません殊に子供のそれは可哀さうです

小兒のしやくりは一般に、しばしば起り得るもので、全く簡單な理由で容易に起る時と又重症疾患の經過中の一つの徴候として起る場合がある、殊に小兒は年齢の若いほど容易に起ります、乳兒のしやくりはよく見うけますが、それは胃からの刺戟から來る事が多いのです、胃が乳汁で張り切つた場合とか、空乳首を吸つて胃が空氣で充された場合等にくるものです、胃以外の刺戟では、身体の一部又は全身を冷やした場合とか、大笑ひした時に起る事があります　以上の樣なしやくりはすべて一時的でありまして、その刺戟を除けば簡單に治ります、例へば乳兒なら身体を上向きに伸ばして胃から空氣を出す姿勢をとらせるか、身体を溫めるか、又大きい兒なら長時間呼吸を止めるか、呼氣を强いて長くださせるなどの方法があります、大人で永く止らないものにはヒステリー其の他の全く神經性のものがあります、次に重症疾患の一つの徴候としてくるものには腹膜炎、腹閉塞等で腹腔膨滿した場合、重い腸チフス、心囊炎その他の疾患が永引いて神經の緊張度が低下した場合、或ひは流行性腦炎の樣なのはすべてしやつくりは永續性であつて、この樣な場合はその疾患の豫後は不良であることが多いのです、そのしやつくりの療法はやはりそのもとの疾患を治すことにあるのです

身上相談

法律、或は醫學上の相談はじめ身の上に關する一切の御相談に應じます、御遠慮なく御利用下さい（本社相談係）

（問）謹啓、私は二十歳の青年ですが、不圖したため左頬（顏面）に長さ約五分幅一分の傷痕を二箇所に殘し社會人として交際する上に甚だヒケ目を感じてゐます、新京において整形してなほる外科醫ありや、若しあれば治療期間、及び全癒の程度をお知せ被下度、萬一新京にて不可能なれば奉天、大連における上記件につき御調査の上御知らせ下さい

（答）まだお若いあなたの顏面の傷ではお恥しいのはご尤もでせう、滿鐵新京醫院々長塚本博士も傷の程度によつては癒せますが問合せの文面だけでは判らぬから本人が來て見せて頂きたいと申されてゐますからお暇のとき同醫院に先生を訪れてみせられてはどうですか塚本先生で癒せなければ他に滿洲で癒せる先生はないさうです新京醫院は南廣場脇放送局裏にあります

◇……◇

本欄の利用について料金がいるのぢやないかといふ御電話を時たま戴きますが、料金なぞ一文も頂かないのですからどんな面倒な事件でもどしどし御問合せ願ひます　手數などはちつとも苦に致しません……

朗らか小父さん

學藝欄

非常時　躍動の日本

青年學校開設（二）

滿十四歳以上の青年を四月から收容！

時に政府當局が必要を感じつゝも義務制としなかつたことは、他に幾多の理由の存することを看過することは出來ないが、一つには、寧ろ國民の非常時認識による自發的青年教養に俟たうとするのでありまして最早義務制ならざるが故に、國家の前途も皇道日本の國策も考慮することなく、我利する、非國民的分子の無いとするのでありますに生き、小我に滿足せんとといふ見解の下に立案せられたものであります

次に新制度の青年學校は普通科、本科、研究科、專修科の四科に分れてゐますが滿十四時より滿十九歳に至る本科五ケ年間を主とするもので最初の二年間は修身及公民科年二〇時以上、普通學科年五〇時以上、職業科年七〇時以上、教練年七〇時以上計二一〇時以上、次の三ケ年間は修身及公民科年二〇時以上、普通學科職業科合せて年九〇時以上教練年七〇時以上、計年一八〇時以上、五ケ年を通じて修身及公民科一〇〇時以上、教練三五〇時以上、普通科職業科を合せて五一〇時以上、計九六〇時以上の教育を施すことにしてゐる而して可成職業に妨げなき

> **日暮の一本道**
>
> 日暮れの里道
> 　一本道
> がた馬車笛吹いて
> 　歸つてく
>
> 日暮れの一本道
> 　野分すりや
> 子守りつ子
> 　ころ／＼ころげた
>
> 日暮れの一本道
> 　燒野つ原
> ずつと向ふで
> 　火がもえる

時期、時刻を撰んで實施せんとするもので、その目的とするところは、心身を鍛錬して身体の强健を圖り、國家觀念を明徴にし、公民の心得を体得せしめ、職業に關する知識技能を授けると共に、禮儀を重んじ、質實剛健、規律節制、共同團結、勤勞を愛好する青年を作らうとするところにあるのであります

内地ではこの四月一日から實施することになつてゐます、滿洲に於ても必然これに順應すべく、滿鐵に於ても着々準備中であります、私の方でも、殘會と共に何日何時でも實施の出來るやう諸般の準備を進めてゐます、差當り今回は本科を募集することとし夫々該當者の調査をなし、既に判明の方へは通知案内狀を發送して置きました、昨今續々入學願書が届けられてゐますが尙御社を通じて一般へ周知方をお願ひたいものです」と

又用する所によると、滿鐵に於ても新學務課長荒木章氏の方針に基き、これまでの青訓の如き姑息の手段を採らず、相當豫算も見積り、直に本使命の達成に努力するとの事である

春の句譜（上）

三　堂

眼に青葉山ほとゝぎす……」とまではゆかぬまでも、滿洲の長い長い冬籠りの目張生活から開放されて、滿目新しい春の世界がひらけて來た、日がへりの水郷吉林への旅、南嶺へのピクニック、西公園への散歩、春宵の机邊、吾々の句興をそゝるよすがならざるはない春となつた、とはいへ滿洲の春は、氣象學的に、地理學的に日本内地のそれとは似もつかぬもので、お互に故國の春に對しては限りない憧れと戀しさとを感ずるのであるせめて季節を詠じ、自然を諷詠する俳句によつて、春光輝く故山郷水の容姿を偲ぶとしやう

○

暦日の上では節分の翌日が立春で、此日春が立つのである

落葉焚いて春立つ庭や智恩院　虚子

春立つやそゞろ心の火ヲケ抱く　年尾

しかし春とはいひながら、暦日の上だけで少し暖かになりかけたと思ふ間もなく、また寒さがぶり返へして來る

三日月はそるぞ寒はさえかへる　一茶

冴え返り冴え返りつゝ春なかば　泊月

池田から炭くれし春の寒さかな　蕪村

春寒や砂より出でし松の幹　虚子

病床の匂袋や淺き春　子規

春の陽のきらびやかに照る日には、町の雪も野の雪も解けはじめる

門前や子供の作る雪解川　一茶

雪解の雫すれ／＼に干蒲團　虚子

春立つて先づ吾々の迎へる人事は、吾等の紀元節、即ち梅花節と初午である

萬葉に東歌あり紀元節　秋櫻子

新羅なる埴生の里も紀元節　鳥頭子

氷上の小屋にも旗や紀元節　帆影郎

初午や物種賣りに日の當る　蕪村

打ち晴れた日の野に山に枯草を燒く煙の見らるゝのも早春の風景である

野とゝに燒る地藏のしきみかな　蕪村

此の村を出でばやと思ふ畦を燒く　虚子

山燒く火檜原に來ればまのたあり　秋櫻子

新　京

野火近く國都の大路横ぎれる　三堂

早春、百花に魁けて咲くのは梅である、梅は古來和漢の詩人に愛賞されてゐる

春もやゝけしきととのふ月と梅　芭蕉

梅遠近南すべく北すべく　蕪村

崖急に梅ことごとく斜なり　子規

紅梅の紅の通へる幹ならん　虚子

又春に魁けて鳴くものは鶯であり、古來春の訪れとして詩に歌に詠ぜられてゐる

鶯や茶袋かゝる庵の垣　芭蕉

鶯の身を逆に初音かな　其角

鶯に終日遠し畑の人　蕪村

鶯や洞然として晝霞　虚子

いつしか冬枯の野には春氣が動いて、草が萌えつゝある

まん丸に草靑みけり堂の前　一茶

草萌ゆと思ひそめたる一日かな　たかし

草崩の大地にゆるき地震かな　虚子

餘寒のきびしい内にも、三月の聲をきくと何となく寛いだ、春らしい心持になる、桃の咲くのもこの季である

木母寺の先は桃咲く在處かな　梅實

植木屋の裏の貸家や桃の花　虚子

桃にゆかりの桃の節句、雛祭りは洵にゆかしく美はしい行事の一つである

段の雛情水坂をひと目かな　其角

旅人の窓よりのぞくひひなかな　白雄

雛の座にカチ／＼山の屛風かな　虚吼

雛の戸や日もすがらなる蒙古風　蘇城

桃の節句の時分になると、急に山川草木のすべてがいき／＼として春めいて來る

春めくや庇の影の古障子　南風

春の山草履をはいて上りけり　村家

郊行や佇む水のぬるみたる　風生

春の水山なき國を流れけり　蕪村

春なれや名もなき山の朝霞　芭蕉

春草に轍のあとの外れてあり　素十

春嵐をすべり下りたるあとありぬ　虚子

更に野といはず、山といはず百花絹を競ふの風色も春なればこそである

何故放浪の唄が流行るか？

大　藤　堯

近頃のいはゆる流行歌といふものを見てゐると、放浪の唄といつた感じのものが大多數を占めてゐることが知られる「荒野の旅」とか「國境の街」とかその他エトセトラである流行歌といふものは何時の時代にあつても、その時代の社會相の反映であつた、關東震災前の「枯れすゝき」がそうであつたし、復興東京の「パイノパイノパイ」が然うであつた

近時のいはゆる「滿洲熱」或ひは「滿洲景氣」の隆盛が滿洲情緒！或ひはそれらしいものを大いに盛り込まうと努めてゐることは容易に推知されるのである、だが、われらはそういふ現實の社會情勢の動きの現はれの中にはつきりと見出すのである、こういふもの の表現の中にこそわれらが朝から晩まで一日一日の生活を送つてゐるありのままの姿が表現されてゐるのだところで斯ういふ民衆の歌の中にわれらの日常生活の現實相が盛られて居り、しかもその中に現代人の生活における放浪性つまりルンペン性が如實に示されてゐるとすれば、これは考ふるだけの資格を持つものではなからうか、これを要するに私は斯う思ふのだ、つまりインテリ中間階級といふものが今や現實に社會の進展の上において今までに無かつた所の經驗を嘗めつゝあるのだもつと卒直な言葉を以つて言へば、之らの有識無産階級層の諸君はその行くべき道に迷ひ、生活の方途に困惑してゐるのだ、だから現在横行する所のいはゆる放浪者的風情といふものはつまりはかゝる蒼白きインテリの惱みの隱す所なき表白に外ならぬと私は默ふのである、この意味において、現代のわれらの流行歌つまりわれら民衆の歌も、多かれ少かれわれらの一九三五年代の生活の現實相を單的に表示してゐるすのであることはこれに異論を容れ得る余地は無いと私は思ふのである、

猿仲間の變者　猩々と狐猿

猩々は馬來群島中のスマトラとボルネオの深林中に棲む動物で猿類の中では比較的高等なもので、猩々の雄は身長が四尺餘りで、雌は雄よりも小形です、猩々は好んで樹上生活をするもので、森林中の濕氣の多い場所を好んで棲んで居ます、性質は孤獨を好むと見えて、他の猿類の如く集團しません、其の食料は樹木の葉や果實で、特に猩々の好む果實は「ドウリアン」です「ドウリアン」と云ふのは熱帶地方に產する喬木の實です、飼養されて居る猩々の幼獸はなかなかよく遊び、よく戲れて馴らし易い動物で、教へれば行儀よく飲食します、煙草を吸ふ、葡萄酒を飲む、自轉車にも乘る、「ローラースケート」をも使ふのです、英國ロンドンで動物園に養つて居る猩々は樣々の事をして見物人を喜ばせて居ます

狐猿は猩々と異り猿類の中でも下等なものです、マダガスカル島には種々の狐猿が居ます或るものは森林を好み、或るものは山地を好んで棲んで居ます、其の頭が狐に似て居て体は少さいが尾は頗る長くて、よく人に馴れるから動物園にも養はれて居る動物です眠る時には体を圓くして尾を巻いて居ます、狐猿の子供は產れて二ケ月位迄は母親の胴に尾を以て卷き着いて抱かれた樣になつて居ます、此の時には子供は手足で母体にしつかりとつかまり、尾は母体を卷いて更に自分の頭部に卷いて居ます

家庭医學

結核と人體の自然療能

百人中九十八人迄の屍體解剖に證明された結核治療の本道

「十四五歳以上になれば大抵の人は結核に犯される、と云ひますと、まさかと思ふ人が多いでせうが、之は本當の事で、ネーゲリーといふ瑞西チューリッヒ大學教授が

五百の屍體を解剖

した結果、結核以外の病死者でも十八歳から四十歳迄の者は、百人中九十八人迄が體內に結核病變をもつて居り、四十歳以上の屍體では殆ど全部に之を認めたと報告されてゐますし、日本の大學等で行はれた屍體解剖の結果も、大體右の通りだと云はれます。

また、ツベルクリン反應と云つて、結核に罹つた事のある人は必ず反應の現れる檢査をすると、十四五歳以上の人は殆ど結核に罹つた事のある事が證明されます。

ところが實際上、吾々の周圍を見ても分る樣に、現在結核で惱んでゐる人は割合に少いのは何故かと申しますと、或程度まで發病しても、自分でも氣付かぬ初期の中に、自然に治つてしまふ事が多いのです。

之が所謂、結核の自然治癒でありますが、結核菌に犯された人の大多數が右の經過をとつて、知らない內に治つてゐると云ふ事は、取りも直さず結核治療の本道が茲にある事を示すものです。

故に、假へ明かに結核と診斷がついた者でも、徒らに迷はず自然治癒の經過に合致する樣な療養をすれば、充分治癒すべきものであり、殊に早期のうちなら比較的容易に治るといふ事が分ります。

では結核の自然治癒はどうして行はれるかと云ひますと、人體には外部から侵入して來る凡ての有害物に對する微妙な自然の防禦作用——自然療能が具はつてゐるからであります。

白血球の喰菌作用

中でも最も重要なのは、病原菌を溶解し、殺滅し、毒素を解消する抗菌作用であります。其中でも一般によく知られてゐるのは、白血球の病原菌を包圍して喰殺して終ふ、其他にも之に類する抗菌作用か色々あつて、或程度まで繁殖を初めた結核菌を殺し、病竈を健全な細胞で固めてしまふのであります。

結核で衰弱の甚しいのは、結核菌の勢力が強くて、自然療能が敗け戰の狀態に陷つた時と見るべきであり、従つて結核の治療には此の衰へた自然療能を旺盛ならしめる事が肝心で、假へ醫師にかゝつて療養中の場合にも、此の信念が動搖してゐては、結核の治癒を圖る

≋奮闘する白血球≋ これは人間の血管の中に侵入したチフス菌を白血球が旺んに自分の體內に呑み込み、殺してゐる有様を擴大して示したものです。この樣に白血球がチフス菌のみならず結核菌其他の病原菌を捕喰する作用を白血球喰菌作用と云つて、人間に自然に備はる治癒力（自然療能）ですが、若素（わかもと）をのむと此作用が非常に增大する事が、大學の實驗によつて報告されてゐます。

今日、自然療能の增進を目的に行はれる療法中でも若素（わかもと）の服用による酵素榮養療法などは出色のものとして推奬されて居ります。

此の藥は非常に食慾を進めるグリコキニン、熱や喀血、盗汗の原因たる結核菌の生產毒素を解消する肝臟の榮養素のグリコーゲン、ビタミンB等を多く含み、結核の局部的症狀を靜める點でも、在來の對症藥を數種併用した如き廣汎な作用があります。

而も若素（わかもと）が患體の衰弱を輕快し、肝心の自然療能の原動力となつて結核を治癒に導く主要な原因は、多種の活性酵素を含んでゐる點です。

酵素は結核菌の毒素の爲に衰弱した諸器官の機能を更生し、白血球の喰菌作用を高め、胃腸を強めて消化吸收をよくしますので、更に若素（わかもと）中に含まれた脂肪、蛋白質、ビタミン、無機物等の作用も之に協和して、榮養が高まり、自然療能が增進して、結核を治癒に導く事は期して待つべきものがあるわけです。」

頭腦の榮養素

最近、榮養研究所で行つた小學兒童の、能力檢査の結果によれば、學業不良兒は、單に體力許りでなく、記憶力や視覺の能力まで劣つてゐるといふ事が分りました。之は主として中樞神經の榮養素たる、有機燐酸が不足してゐる爲と思はれますが、こんな子供に若素（わかもと）を與へますと、レチチン、又クレイン等の有機燐酸がある上に強力な活性酵素の力によつて、全身の組織細胞に賦活し、凡ての中樞神經を活潑にしますから、頭腦を明快にし、能力を昂め學業成績も從つて優良になります。

自然に結核熱を下げ食慾を進める新療法

藥劑、殊に化學藥劑には、しばしば副作用が伴ふもので、解熱劑をのんだ爲にピリン疹といふ皮膚の發疹が出來るとか、食慾不振その他の胃腸障碍を釀すといふ樣な事は、よく耳にする事で、その上、化學藥劑の中には、毎日のんでゐると、習慣性になり、終には適量では利かなくなるのがよくあります。例へば

不眠 症の人が催眠劑を用ひてゐると、次第に藥に慣れて習慣性に陷り、二倍もの藥をのまねば効がないといふ破目になります。之と同じく結核患者も、熱さましとして色々な化學藥劑を連用してゐますと、その用量を次第に增さなくては、一向熱も下らぬ樣になります。

殊に結核患者が、解熱劑を用ひる場合は、他の熱性患者の場合とちがつて、身體が衰弱して抵抗力が不足して居りますから、結核菌の爲に攻められる外に、解熱劑の副作用をうけて、食慾の減退などから、引いて治療上に大きな障碍を招く事になります。

元來結核熱は、結核菌の產生毒素の爲に、溫中樞が刺戟されて起るもの故、解熱劑で熱だけを抑へる事は困難であり、假へ一時下熱したとて、病原には格別奏効しませんから、此意味からも

結核 患者に解熱劑は不適當であります。

それで近頃では、結核の下熱法も色々研究されてゐますが、新生物製劑若素（わかもと）は、解熱劑を含んでゐないのに、之を服用すると、自然的に結核熱から救はれるので賞用せられてゐます。

この藥は、白血球の喰菌作用や肝臟の解毒作用を昂める酵素、ビタミン、グリコーゲン等を含んで全身の抗病力を旺盛に導き、衰弱細胞を更生して新陳代謝を活潑にする作用がある上に、病菌毒素による衰弱を救ふ多種の榮養素を含んで、發熱を原因的に救ふ効果があるのです。

つまり若素（わかもと）を服用して熱が下るのは、結核菌の勢力が挫かれた自然現象であり、病氣がそれだけよくなつた證據ですが、更に發熱と共に患者を惱ます

食慾 不振も、同時に救はれるのです。

食慾は神經作用でも餘程左右されますが、その最大原因は一般には胃腸の衰弱した場合、結核患者では病菌毒素の爲に胃腸が弱り、腦神經の食慾中樞も障碍された場合ですから、凡て原因を除かない限り、單純な消化劑等では効果をあげかねます。

處が若素（わかもと）中のグリコキニンは、佛國の碩學者ボアス博士をして「食慾素といふべきだ」と驚歎せしめた程強い食慾增進作用があり、その他消化を高め胃腸を機能的に強め、結核には病原的効果を獵しますから、結核患者の食慾不振に用ひてよく効果があるのであります。

藥劑の選定法

若素（わかもと）は廿五日分一圓六十錢、八十三日分五圓の一日數錢に過ぎぬ廉價で東京市芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から特に頒布されますが、滿洲各地の藥店でも取次してゐますが、何分實行盛んな有名藥で、ヘーフエ、酵母イースト等の類似の名を冠した製劑が夥しく現れ若素（わかもと）と効果に差異なしとてこれらの類似藥を勸める藥店もあるが、若素（わかもと）は數多の種類あるヘーフエ菌中、もつとも醫藥的價値に富む菌種を特許の方法により、全成分を破壞せぬやう大規模の製造設備の下に製劑したものであつて、外觀が類似する製劑なるが故に効果同一と信ずるは大きな間違ひであります。

療病手記

肋膜炎で大變衰弱したのが

（大阪）松村操

（前略）寢冷えがもとで、三十八度迄の微熱が毎日〳〵のやうに續き（中略）その微熱のために食慾は全然進まず、一杯の御飯を戴くにも大變な努力がいりました。

そんなやうなわけですから、餘り健康體でなかつた私は、日に日に衰弱して、二週間たらずの間に二貫五百匁も體重が減り（中略）近所の醫師に診てもらつた處、肋膜とのこと（中略）早速醫師の言葉を嚴守して本格的の養生にかゝりました。

私の兄は（中略）「榮養を滿足にとつてゐる上に、胃腸を健全にし、食慾を旺盛にし、尚且つ便通をよくする（中略）藥だ」と云つて貴社の『錠劑わかもと』を買つて來てくれました。（中略）兄の言に從ひ早速服用致しました。養生の傍ら一週間二週間と服用を續けるうちに兄の言葉通り私の信賴通り、次第〳〵に効果があらはれて來ました。（中略）胃腸が非常に調子よく食慾も進んで（中略）榮養食物も容易に攝取出來（中略）病狀は（中略）快方に向ひ、今ではいやな盗汗も殆んどなく熱も平温に近くなり、體のだるみも今はなくなり（後略）

新京郵便局通關事務 四月一日から實施
一般民衆の利便多大

新京郵便局の通關事務はいよ〳〵四月一日から實施されるが、事變後年三十萬件以上にのぼる同發着小包郵便物の税關檢査事務は繁忙を極めるものとみられ、これが人員は大連中央郵便局から轉勤の事務熟練吏員、傭員合計十四名とハルビン税關新京分局から出頭する税關吏八名は二十七日決定して準備は全く成り唯事務の開始を待つばかりである、通關事務の開始によつて即ち同局發着にかゝる小包郵便物の輸出入税は直接同局において取扱はれることゝなつたので一般公衆の享ける利便は多大なものであらう、從來に比し利便になつた點を擧げれば(一)日數が早くなり(二)遞送中の破損が少くなる(三)課税額に異議がある場合直接會つて異議の申立てが出來(四)再檢査を要する場合從來は大連に送り返してゐたゝめ非常な日數を要してゐたのが今後は直接新京局で再檢査を請求することが出來るやうになり(五)從つて課税の公平を期することが出來る等の諸點である

皇帝御發當日の警備豫行演習！
三十日午前十時から實施

滿洲國皇帝陛下の御訪日當日の警備の萬全を期するため三十日午前十時から日滿官憲總出動で御通過の豫行演習を行ひ並に沿道、驛構內の警戒をなすことになつた

首都警察の御訪日警備

滿洲國皇帝陛下の御訪日を目睫に日滿警備機關は連日に亘り警戒に任じてゐるが首都警察廳では二十六日午後七時より管下各署より四十名の刑事を總動員し一齊檢索を行ひ擧動不審の者三十名を檢束した

凱旋の若山將軍に 侍從武官御差遣

前〇〇師團長若山中將は三十日午前十時新京驛發歸國の途に就くことゝなつたので皇帝陛下におかせられては侍從武官于宗謙氏を新京驛に御差遣あらせらる

反消陳情 暫時靜觀

二十七日阪谷總務廳次長および吉澤大使館書記官を訪問する豫定だつた石崎全滿商議會長以下滿洲日滿商業團体聯合會臨時總會出席の各地代表十三名は、目下當局において品種協定、小賣値段協定等に關し折角兩者の間に斡旋の具体策考究中であるからいま暫らく靜觀をつゞけてはとの意見が現れ、一部には强硬意見を有するものもあつたが結局石崎會長に一任し二十七日の訪問は中止して暫らく靜觀をつゞけることゝなり各地代表者は同日歸任した

盜んだり！ 馬十二頭
南關署管內の拳銃强盜

二十六日午後十一時四十分頃新京城內南關警察署管內西双樓街門牌三十二號義和長棧米舖にモーゼル及ブローニング拳銃を所持せる三人組强盜が同家裏門を破壞して家內に侵入し就寢中の同家執事人本籍吉林省生れ趙僕(四七)及び河北省昌黎縣生れ賑員田藍昌(三十二)に所持の拳銃を擬して脅迫し國幣二十元三角、銀大洋七圓を强奪構內より馬六頭騾馬六頭價格一千五百元を强奪し去つた屆出により南關署では直ちに首都警察廳に通報すると同時に管下各署に逮捕手配をなしたが未だ逮捕に至らない强盜は逃走に際し馬一頭と狗皮の　を殘してあつた、人相は三十二歲の逞ましい若者ばかりであつた

岩佐憲兵司令官襲擊未遂犯人！
開山屯署で逮捕す

【京城國通至急報】岩佐關東軍憲兵司令官は二十六日午後一時自動車で上三峰を出發龍井に向ふ途中鮮人共產黨員が之に危害に加へんとしたのを開山屯警察分署で探知し、其一名を逮捕引續き一味逮捕の爲活動中である

實業補習校 前期生始業式

新京實業補習學校の昭和十年度前期生徒の始業式は四月八日(月曜日)午後七時より行はれる、各學科の修業期間は六ケ月で九月に修了することになつてゐる、當教科書は市內中央通四番地大阪屋號書店にて販賣してゐる

電々定礎式

電々會社では大同廣場に建築中の本社も半ば出來上つたので二十九日午前十時から建築中の同社屋においてたま〳〵株主總會に列席のため來京中の山內總裁をはじめ三多副總裁以下各課長社員出席し定礎式を擧行することゝなつた

日本留學生 本春卒業者

國家有爲の人材を養成するため文教部から國內および國外各學校に派遣してゐる補助費支給留學生中本春卒業生は日本專門學校および大學七名、國內專門學校および大學二十四名であるが各校別に示せば次の通りである

▲日本專門學校及大學 仙台高工電氣科二名、機械科一名△名古屋高工土木科一名△東京帝大造兵科一名△九州帝大農科一名△長崎高商一名
▲國內專門學校及大學旅順工大冶金科一名、電氣科二名、機械科一名▲滿洲醫大專門部十七名▲同本科二名

大陸科學研究院々長 直木博士兼任

豫て大陸科學院初代院長に擬せられて居た同院の產婆役大河內正敏博士は日本內地に於ける勤務の都合上就任不可能となつたので滿洲國政府では學識經驗豐かな現國道局長直木倫太郎博士に白羽の矢を立てて交渉中のところ同氏の承諾を得たので近く閣議の承認を得て兼任の辭を發することゝなつた
尚大河內博士は顧問として就任する筈である

繁盛のお守り札 〝滿鐵指定旅館〟
或は全部取はづされるか

最近新京の旅館では猫も杓子も「南滿洲鐵道株式會社指定旅館」の

看板

を掲げてゐるが旅客その他一般關係者ではこの看板のある旅館は特別設備が完備しサービスのいい代表的な旅館ぐらいに思ふが別段代表的のものといふ譯ではなくそのくせ旅館側では指定旅館にしてもらふべく望んでゐる、これに對し

鐵道

部及び鐵道事務所としてはこの際指定旅館の看板は全部とりはづさせるか、整理するかについて目下研究中である

全滿各民會長から緊切な要望續出
民會長會議盛會裡に終る

いまや全滿內地人居留民會に於ける重大問題とされてゐる在滿邦人兒童教育費補助の根本的方針の

決定

を協議する奉天居留民會長主催の全滿居留民會長會議は二十七日午後二時から新京朝日通り新京居留民會事務所樓上會議室で開催された、出席者は大使館代表吉澤書記官、總領事館代表佐々木副領事、滿鐵代表武田地方事務所長、民會長は奉天野口多內、新京品川主計、ハルビン牛木寬三郎、吉林宮本登、チチハル小笠原俊三、錦州濱口英雄、關門駒林金四郎、鄭家屯平尾錢太郎、ハイラル鈴木健吉、大虎山神島岩重、延吉安倍五平太、北票石松三一郎、新京田中照平の

諸氏

野口氏から開會の挨拶ありまづ吉澤氏から一昨年以來居留民會教育費の外務省補助金受領について外務省と折衝の苦心談から昭和十年度は三十萬圓の豫算を承認されることを報告、今後同問題の根本方針決定については大藏、外務兩當局を始め各關係方面に交渉萬全を期するとゝもに諸氏も一層努力して欲しいと要望、終つて

武田氏 滿鐵としては別に附屬地外の兒童教育に關し決して無關心でゐる譯ではなく寧ろ大いに援助してゆく方針である
と滿鐵側の意嚮を代辯

駒林氏（關門）最も重要視すべき兒童の教育費にいつまでも斯樣に不安を抱かねばならぬことは遺憾に堪へぬ
と關門の實情について說明をなし教育費捻出方法として民會の納税義務確立を力說し、年額四萬圓の

經費

を關門民會に負擔せしむれば關門はつぶれると悲壯な悲鳴を擧げる

平尾氏（鄭家屯）教育費補助金問題につき根本方針決定は今、明日に出來るものでないから繼續事業として委員(五名)を組織して善處されたい

牛木氏（ハルビン）大藏省若くは日本政府の方で附屬地外の兒童教育を全部滿鐵に委任して欲しい

吉澤氏（大使館）滿洲における治外法權撤廢滿鐵改組、等諸問題が考へられてゐる今日滿鐵に直營委任は到底不可能だ

武田氏（滿鐵）義務教育の完成すら遂行出來ない今日、この問題は時期尚早、ゆく〳〵は中等學校大學の設立に全力をそゝぎたい

吉澤氏（大使館）中等學校增設も在滿邦人發展の見地からご尤だが實際問題としてはまだ不可能だ

最後に民會公費增收方法から遂ひに在滿日系官吏の公費不納防止策にまで及び四時三十分散會した

陳情委員會設置案可決！
直ちに委員を選出

吉澤、武田、牛木三氏間に忌憚なき意見交換が行はれた後會長品川氏から將來有效適切な陳情委員會を設置して委員會は直接東京へゆかず現地において

滿鐵

關東軍方面の幹部を信賴しこれ等幹部に根强く懇願してもらつてはと諮り滿場一致品川氏の提案を可決し三時四十分一旦休憩同四時から引續き開會委員に新京、奉天、ハルビン錦州、吉林、チ、ハル各會長が推薦され尙ほ

濱口氏（錦州）小、中大學は勿論專門學校にいたるまで設立統制してもらひたい

四校長を交へ意見交換

なほ散會後特に傍聽してゐた上原、瀨川、諫山、明日在京四小學校長を混へ滿洲小學兒童教育につき民會長連と意見交換が行はれ五時十分終了した

杉本巡官 警佐に昇進

國外逃走犯人逮捕のため河北省に乘り込み見事首魁者を捕へ滿洲國警察の威信を示した殊勳者、首都警察廳司法科杉本甲巡官は二十七日附警佐に任命された

新京郵便局 九年度業績

四月一日の新年度から新京中央郵便局と改稱することゝなつた新京郵便局では事變後人口の加速度的增加に伴ひ着々業績を擧げてゐるがこの程ようやく昭和九年度の業務統計が出來上つた、これによると事變當時昭和六年度の五、六倍に達し前年より四割强の增加を示してゐる、次表のうち發着出入の減少は一昨年八月電々會社が創立されたゝめ電話料金の收入および之に伴ふ歲出諸經費が分離されたゝめである、同局における昭和九年度業務狀況は次の通り(△印は對前年度比較減)

種別	本年度物數	增加數	前年度に對し增加割合
特殊通常郵便物引受	一九四、八六〇通	六一、八八一	〇、四六
同　配達	二〇九、七七八同	五〇、六六九	〇、三一
小包郵便物引受	五三、〇三一同	三三、〇三四	〇、七九
同　配達	二四四、六六八同	△三一、五八六	△〇、五四
郵便爲替振出口數	一二七、三〇一口	二四、一八九	〇、二二
同　振出金額	四、九四七、三九二圓	一、一〇〇、四五六	〇、二八
同　拂渡口數	四一、三三〇口	一〇、九一七	〇、三五
同　拂渡金額	一、八六六、〇七八圓	三二四、七六二	〇、二〇
郵便貯金預入口數	一二〇、三〇六口	五六、九八九	〇、八九
同　預入金額	三、一〇三、八九九圓	一、〇九九、九〇四	〇、五三
同　拂渡口數	四三、八五五口	一六、一四五	〇、五八
同　拂渡金額	二、四四一、三二七圓	八三三、九六二	〇、五〇
振替貯金拂込口數	五六、三七六口	△一二、一八八	△〇、一七
同　拂込金額	四、一五四、三二八圓	△七七、七七三	△〇、〇一
同　拂渡口數	五、五四二口	一、八三九	〇、四九
同　拂渡金額	五五一、〇七〇圓	一三九、八七三	〇、三〇
簡易保險(成人)受持件數	二三、一〇五件	五、八六一	〇、二九
同　保險金額	四、八七七、五九三圓	一、一六六、一六七	〇、三一
同(小兒)受持件數	三、七五三件	一、三〇八	〇、五三
同　保險金額	六二五、八六二圓	二二九、六四六	〇、五三
郵便年金受持件數	一五三件	八	〇、〇五
同　掛金額	七、一〇八圓	△七七	△〇、〇九
歲入金	五五七、八〇三圓	△三九五、七九四	△〇、四一
歲出金	二三八、四八六圓	△九四、三九九	△〇、二六

滿洲國各部局軟式野球大會
四月十日から開催

滿洲國体育聯盟野球部主催の第二回部局對抗軟式野球大會は來る四月十日から三十日に亘つて中銀、財政部の兩グラウンドで擧行されることに決定したので同大會の打合せのため四月五日文教部大滿洲國體育聯盟事務所で主將會議を開催することになつた、同大會の出場チームは二十チームの豫定で榮へある優勝旗並に遠藤總務廳長の優勝盃を目指し物凄い爭奪戰が華々しく開始される、この優勝旗、優勝盃は果して何處のチームが獲得するか、非常な興味をもつて政府內では色々とりざたをしてゐる、優勝候補チームには昨年の優勝軍中銀と國都建設局、財政部等が最も有勢である

鮮滿案內所〝旅館券〟加入の新京側旅館

鮮滿案內所では旅行團体の便宜を圖るため六十日以內の旅行團に對して旅館券を發行し旅行先の投宿料金支拂取引の手數をはぶくことになつてゐる、新京でこの旅館券の使用出來る旅館はヤマトホテル、名古屋ホテル、西村旅館、北滿旅館、國都ホテル、梅屋旅館、新京旅館、大丸新館、常盤旅館、滿蒙旅館、扶桑旅館、旭ホテル、都旅館、中央ホテル、富士屋旅館の十五軒である

奉天賽馬 壽搖彩票 五萬圓發賣

奉天國立賽馬はシーズンのトップを切つて來る四月廿七日より擧行されるが、馬政局では第五回壽搖彩票五萬圓發賣を發表した
右彩票は同賽馬の第一次第八日第十一競馬(五月十二日豫定)に適用され、一枚國幣五圓である

ワーソンルス

勉强總長長岡隆一郎氏、熱河を除く殆ど全滿の視察を終へ頭の中へ滿洲政策を織り込んでゐるがある一日官吏として「俺位ひの記錄を持つてゐるものはなからう」と大得意
▽……△
ハテ面妖なことが！とさぐりを入れて見るとなるほど得意な筈、あの苦情多い社會局長官として三年といふ長い記錄片や警視總監三日間といふ短期の記錄、さてこそ〳〵序に關東局總長として最長期間の在任の程をブレンソーダ子まで望んでやまぬ次第

鮮魚小賣相場（廿七日）

活鯛 一、八〇—一、一五　氷同 五二　チヌ同 四五—四〇　蓮子同 六一　アマ同 六〇—二六　小同 九七—九五　ブリ 三〇—二七　ヒラス 四七—四五　サハラ 五六—四八　スズキ 二三　サバ 三一—二八　アラチ 四〇　カレヒ 一二—八　ヒラメ 三四—二九　ボラ 三五—二八　キス 四五—三五　ウナギ 一、〇—七〇　オコゼ 二一—一〇　メバル 二七—二〇　ムツ 三〇　サヨリ 六一—二三　ホタテ貝 一五　小イカ 二〇—一〇　タコ 二六—二〇　イヒダコ 二三—二一　イセエビ 一、〇五—五八　クルマエビ 五二—五〇　カニ 四〇　アナゴ 二三—二〇　白魚 二五—二〇　ナマコ 三〇—一八　カキ 二〇—一〇　ハマグリ 四五—三〇　アサリ 一二—九　シジミ 八　カマボコ 一五　オボロ 四三—一六　黒貝 三二　ムキ貝 三〇—二六　赤貝 一〇〇　タナゴ 一〇—七、二七

切身相場　マグロ 一、一〇—二五　ブリ 五五—四〇　ヒラス 九〇—八〇　サハラ 一、一六—八〇　ヒラメ 六〇—五〇　シビ 七〇—五〇

女人婆羅門（百二）

（議上演映畫化）

長田秀雄　西正世志畫

移り行く花（四）

脱衣所へ出て來たお藤は、御女達に向つて、

「妾はいま此の旦那と一緒にお午餐を食べに行つてくるから、氣をつけておくれよ」

御女達は、羨望の色を浮べて、

「宜しうございます――そのかはり、御土産をどつさりお願ひいたします」

「土産なんぞありはしないよ」

「手ブラぢや承知しませんよ」

「芋でも買つてお上りな――けふは暇だけど、盗喰をしちやいけないよ」

と、出て行くお藤の後姿を、御女達は、暫らく見送つてゐたが、

「ちつ、馬鹿にしてるよ、女將さんはあの齢で浮氣をするんだから――空恐ろしいや……」

「凄腕だねえ、まつたく」

一しきり噂口に花が咲いた。

裏口で、雨傘をさしながら、お藤の出てくるのを待つてゐた客人は、

「怖ろしく待たせやがるな、待たるゝとも待つ身になるな――とはよく云つたもんだ」

ぱらぱら／＼と、雨傘を鳴らして、どうやら氷雨になりさうな天候だつた。

そこへお藤が出て來て、

「お待遠樣……」

客人の顔を見上げて、艶に笑つた。

「や――見違へた。大層美しくなつて、私は辨天樣の再來かと思ひましたよ」

「あら、お口がお上手ですわね」

と、傘を差しかけて、思ひ直してまた、つぼめた。

「妾、いつそ、その御傘の中に入れて、いたゞきませうか」

「や、相合傘ですか――願つたりかなつたりませんね。貴女のやうな美しい方と相合傘が出來るなんて、末代までの語り草と云ふものです」

「あら、嬉しいことばつかり」

傘の中に、二つの身體がぴつたり寄つた。氷雨の中を、客人とお藤の二人は、二人とも異樣なときめきを胸に感じながら、やゝしばしは無言で歩いて行つた。

「よく、出て來られましたねえ」

「えゝ――隨分無理な算段をして出てまゐりましたの」

「それはお氣の毒です」

「いゝえ」

お藤は、うつむきながら、泥濘に染まりさうな足許ばかりをみつめて歩いた。自分でも不思議なほど胸が騒いで來て、何となく生娘時代に返つたやうな、そわ／＼した氣持ちになつた――頬がほてつて仕方がなかつた。

「何處へ行きませう。横山宿の高直亭といふ家は、川魚料理が大層評判ださうだが、高直亭は如何でせう」

「結構ですねえ――あれは甲州屋と云つて、ちかごろ開店した店で御座います。高いを自慢で高直亭といふ名がつきました。鮎と鰻は大層評判でございます」

「ぢや、そこがいゝ――少々脂つこいけど、鰻でも喰くとしませう」

二人は高直亭の前に出てきた。

「いらつしやいまし」

女中の案内で、奥二階に案内されると、

「御酒と、鰻の中串と、それからおさしみ！」

型通りの誂へ物をした。

酒が出た。

「まあ、お女將さんから」

「いえ、旦那樣から」

「それでは私がお先に一ついたゞいて、その後を……」

飲み乾して、

「なか／＼好い酒だ。――さ、一つ受けて下さい、飲ける口でせう」

「いゝえ……でも、お一つ位はいたゞきます」

その飲みつぷりを眺めて、

「いゝ飲みつぷりだ。駈附三杯といふことがあるから、飲んだり飲んだり」